

第Ⅲ部

自由記述の分析

目 次

自由記述の分析	149
(1) - 1 保護者の感想や要望、意見	150
① 2歳・5歳の保護者	150
② 小学2年生の保護者	161
③ 小学5年生・中学2年生の保護者	168
④ 高校2年生の保護者	178
(1) - 2 保護者の感想や要望、意見に対する考察	183
(2) - 1 コロナ感染拡大による子どもの生活への影響	184
①小学5年生	184
②中学2年生	189
③高校2年生	194
(2) - 2 コロナ感染拡大による子どもの生活への影響に対する考察	199
(3) - 1 子どもの感想や意見、要望	200
①小学5年生	200
②中学2年生	206
③高校2年生	214
(3) - 2 子どもの感想や意見、要望に対する考察	218

自由記述の分析

1. 方法

質問紙に自由記述式の回答項目を設けた。

保護者向けアンケートでは、(1)「制度やサービス、支援策について、利用してよかったこと、不満に思ったり困ったりしたこと、その他感想や要望、意見などがありましたら自由にお書きください。」という設問に回答を求めた。

子ども向けアンケートでは、(2)「新型コロナウイルスの感染症の感染拡大によって、あなたの生活に何か影響がありましたか。もしあれば、どんな影響があったか、ご自由にお書きください。」というコロナの影響に関する設問と、(3)「最後にこのアンケートの感想、学校や社会のことについてのご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。」というアンケート全体に対する設問の2問に回答を求めた。

回答から「特になし」「無し」「ありません」「わからない」といった内容の記述を除外した。調査協力者のうち、(1)保護者1,395名（15.0%）、(2)子どものコロナ影響1,267名（25.4%）、(3)子どもの感想698名（14.0%）から有効回答が得られた（かっこ内は全質問紙回収数における自由記述に回答した方の割合）。

分析はKHcoder（Version3.Beta.02c；樋口、2020）を用いた。

2. 結果

子どもの年齢層ごとデータを分割し、それぞれについて共起ネットワーク分析を行った。

共起ネットワーク分析は、一緒に出現している頻度が高い語を線で結んだネットワークを描く分析である。線につながっている単語は、よく同時に出現している語であるといえる。よく同時に出現している語ほど太い線で描かれている。円の大きさは語の出現回数の多さを意味しており、頻出語ほど大きい円で描かれている。円と円が近くに描かれていても、線で結ばれていなければ関連がないことに注意が必要である。

各カテゴリに含まれる自由記述の回答は、代表的なものを掲載した。また、文意を損なわない程度に一部中略・抜粋している場合がある。個人が特定される可能性がある内容は除外した。

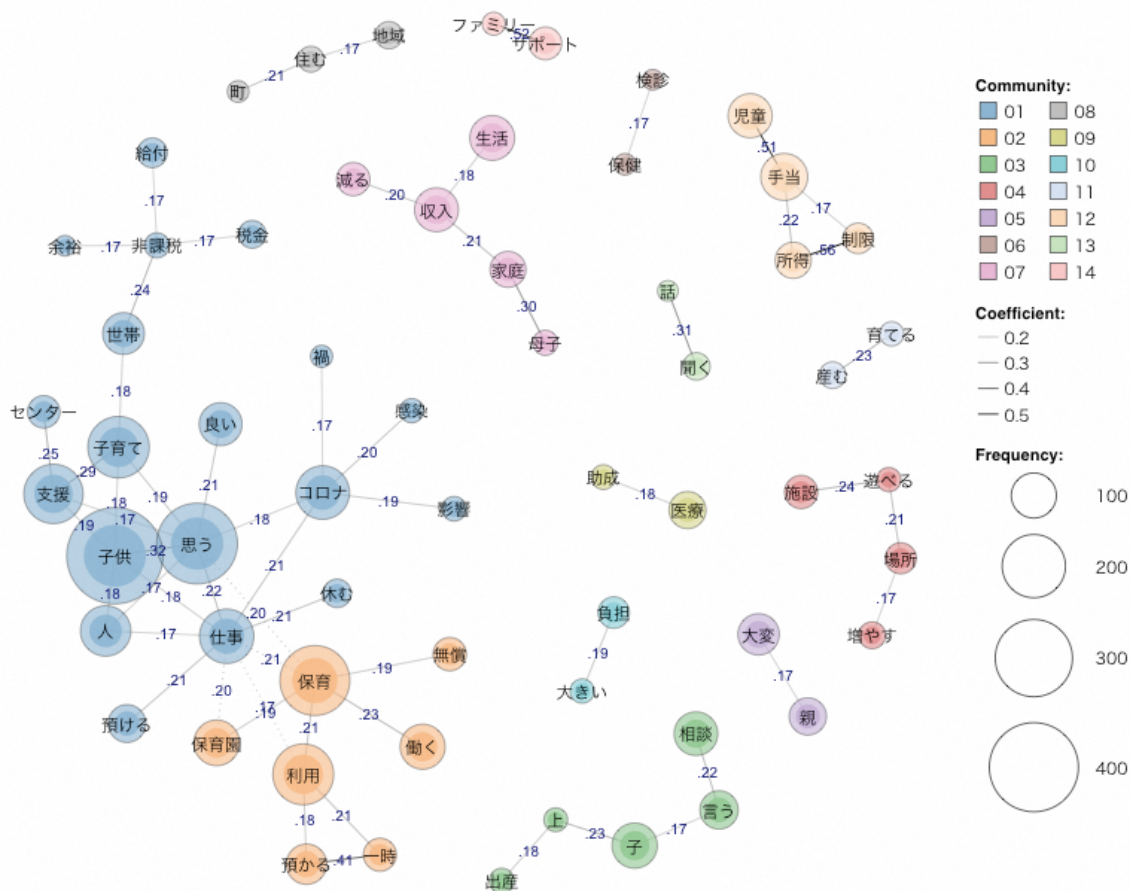
(1) - 1 保護者の感想や要望、意見

「制度やサービス、支援策について、利用してよかったこと、不満に思ったり困ったりしたこと、その他感想や要望、意見」

① 2歳・5歳の保護者

609名から回答が得られた。(総抽出語47,775、異なり語数3,221、2,112文、609段落が抽出された) 回答の中に20回以上登場した単語の中から、語と語の結びつきの強さを表すJaccard係数が高かったもの上位60件を取り出して図示したものが以下である。

結果図から得られたカテゴリを元に、それらの単語を含む自由記述を一覧化した。内容が重複したカテゴリを除き、以下の7つのカテゴリが得られた。



(ア) 「子供」「子育て」「支援」「仕事」「コロナ」「世帯」等を含むカテゴリ

A) 「子育て」「支援」に関連する記述

- ・ 居住している自治体によって子育て支援に対する補助が大きく異なるので、もっと政府主導で子育て支援に充てる財政を確保してほしいと思います
- ・ 住んでいる地域の保育施設利用条件や子育てする環境がよいとは思えない。利用金額、条件が近隣の市との差が激しい
- ・ 子育てに関する手当の所得制限を無くしてほしいです
- ・ 保育園が7:45~18:00で、仕事が8:25~17:00(通勤時間1時間)なので、仕事と育児

の両立ができない。迎えが間に合わないときに預かって貰える場所があると働きながら子育てしやすい

- ・ 特別休暇制度のひとつ「子の看護休暇」を利用できたのは良かった。しかし、子の看護という名称が障害となり、利用しにくいことがあった。「子の養育」など、名称を変更した方が国の施策として子育て支援をより達成できるのではないかと考える
- ・ 月1回ほど地域の自治会館で（注：子どもの預かりを）出張開催してくれるが、いつも利用者より、市職員及び支援センター職員、民政委の方が多く、税金の無駄。市の職員は子育て支援センターにも来ているが、必要性を感じない。子育てに困っている人やネグレクト等、手厚い支援が必要な人はそういう所に来ないし、自ら開催日の情報を取得するアクションを起こせないと思う。家庭やHP、その子が通う保育園等にアウトリーチして積極的に関わっていき、長期的に担当することで一緒に伴走してほしい
- ・ 近くに子供を遊ばせる場所が少ない。未就学児の児童館利用は週1回のみ。ガソリン代をかけて子育て支援センターまで足を運ばないといけない。公園も整備不足や充実してないところばかり。
- ・ 子育て支援センターの予約が取れたのは3ヶ月後で、必要な時に支援を受けられないこと
- ・ 子育て支援センターは未就学児のみの利用なので、上の兄弟が小学生になってから利用ができなくなってしまった。図書館のキッズスペースのように年齢制限のない、兄弟でも利用しやすい、無料で天候に左右されない遊べる場所があれば利用したい
- ・ 保育所に通っている子は子育て支援センターの教室を利用できない。（中略）子供は保育所で友達ができるが、母や父のケア等の観点からも、制限なく誰でも利用できるようにしてほしい
- ・ 幼稚園入園前、親の介護をしていて、一時保育を利用したいと思っても空きがない、急は無理とWケアだったのでとても大変だった。Wケアの人もいると思うので、そういう人に子育て支援と介護支援が協力して何か対策が出来れば良いと思った
- ・ 子育て支援センターに大変助けられましたが、利用時間が10時から12時、13時から15時だったので、もっと長く9時から16時くらいまで利用したかった

B) 「仕事」に関連する記述

- ・ 夫婦共にフルタイムで仕事をしており、実家は遠方なので、何かあった時のために安心して子供を預けられる所がもっとあれば良いと思う。一時預かりはそこに至るまでの手続きが大変だし、ファミリーサポートは子供に何かあった時、預けた親の責任となり、何かあった時が怖いので踏み出せない
- ・ 私の両親はまだ働いていて、子供が病気の際など預かってくれる所がなく、仕事を休む際の休暇の取り方なども制度としてもっと取りやすいように確立してほしい
- ・ 保育園や一時預かりは仕事以外で預けることができないのが残念。
- ・ 3歳以下で保育所などが利用できる場所を増やしてほしい。仕事に就いていなくても、体調や精神面で崩れる時があり、仕事をしている人は優先的に預けられるが、専業主婦の場合預けられない。
- ・ 仕事が休みの時も保育園に子供を預けたい。休みの日は家事が山積みです。自分の時間がない。体力的にキツイ。
- ・ 日曜日に子供を預ける所がほしい。夫は仕事でいないので、毎週日曜日は休みを貰って

ますが、預け先があれば、もう少し働けるのにはと思います

- ・ 今どき土日祝休み9:00~17:00の仕事なんてそうありません。365日24時間シフト制の仕事に就きたくても、保育園が対応してくれないから転職できない。給料の低い仕事にしか就けないと妻はいつも嘆いています。
- ・ 保育所の短時間保育で入園が決まっても、8時半からの預かり前や土曜12時以降は1時間ごとに時間外料金が発生する。預かり時間も短く、就職先の幅が狭まり、職探しがとても困難だった。
- ・ 保育園が少なく、家から遠い所に預けなければならなかったり、職を探すのも保育園に入れないと就職できない。保育園は仕事が見つからなければ入れないという板挟み状態。産休育休を取れる所が少なく、子供ができたなら辞めなければならない
- ・ 病児保育、病後保育に登録していますが、1日あたりの受け入れ人数が少なすぎて利用ができない。3人×2施設では…。結局、親が仕事を休むことになってしまいます。
- ・ 療育と保育所の併用利用ができず、仕事をしながらの療育利用はできませんでした。(中略) 制度をまたがったサービス利用のしづらさがあります。障害福祉サービスを受ける状態の一步手前の子供達が利用しやすい制度になると良いと思います
- ・ 日・祝に仕事に出なければならない時、ファミサポを利用しますが、子供が3人いるので、時給900円で働くために1時間1,400円払っています(時給が発生しない移動時間1時間分もあります)。本当にありがたいサービスですが、働きに行くとマイナスになるのは困っています。国や地域からの援助で負担が減らないかなと思っています
- ・ 子供が生まれ仕事復帰する際の時短制度について、1日1時間取れるのは良いが、その分の給料が減ってしまうのが残念で使えていない(資金を貯めたい時期に給料が減るのは辛い)
- ・ どのような人が対象なのか、どの程度利用できるのか、仕事をしながらだと連絡が取りにくく確認出来なかった。仕事をしていると、利用時間内では利用が難しいことが多く、残念だと思った

C) 「コロナ」に関連する記述

- ・ コロナの給付金をまた出してほしい
- ・ 就学援助制度やコロナの一時金などの対象は持ち家の人は除外されてしまう。
- ・ 児童手当やコロナ補助金を世帯年収で決めるのは不平等。共働きで同じ年収かそれ以上の世帯が手当を受けられて、世帯主のみの収入で手当がないのはどうかと思う。
- ・ 母子家庭など、ひとり親の家庭にはコロナの支援金や他の手当が出ますが、我が家のような多子世帯にも何か支援はないのかと思います。
- ・ 妊娠当時、コロナ特別給付金はお腹の中の子供の分も支給してほしい(一部、地域によっては支給されていた)。
- ・ 私のパート時間もコロナ禍で減っているので、このような子育て世帯に支援(現金支給・クーポン・商品券等)してほしいと思います
- ・ コロナで大変な時にコロナの融資で助けてもらいましたが、今、その返済が大変で、前よりも苦しい生活になっています。税金はまともに払わなければならない中、非課税世帯だけに給付するのはおかしいと思います。
- ・ 新型コロナで収入が下がった家庭に対して補助金が給付された際に、我が家では給料が下がることはなかったが、(中略) 何の支援も受けられないのは納得がいかなかった。コロナ

の影響で収入が減っていなくても、実際に生活をしていける金額があるかどうかで判断してほしい。

- ・ コロナ対策で兄弟が通う学校や保育所で学級閉鎖になった場合、幼稚園に通う子供も休まなければならないのがかわいそうだった
- ・ コロナで2歳の息子だけ陰性で、他家族全員陽性だった時、保育園の休園に合わせて自分の休養だけでも3週間近く仕事を休んでいたのに、陰性者+1週間ということで約1ヶ月近く仕事を休むことになった。(中略)療養期間についてもっと考えてほしいと思います
- ・ コロナが落ち着いてきたとはいえ、熱などの風邪症状があると保育所を1週間休まざるを得ず、仕事にならずという事が多く、ストレスは溜まるし収入も減る。
- ・ コロナ始まりの頃に妊娠し、パート先から身体が心配だからと辞めるように促された。(中略)コロナ禍で出費が増え、本当に苦しい。コロナや昨今の値上げで大変なので、2人目は諦めます。
- ・ 同じクラスからコロナ陽性者が出て保育園を休むように言われた時、給食費が免除になりましたが、兄弟も休むように言われたのに、兄弟の分は免除にならなかった
- ・ 学校や幼稚園でコロナ陽性者が出て、学級閉鎖・休校・休園になった時、職場でお休みを貰いました。「小学校休業等対応助成金」を申請したいと掛け合ったところ、職場では対応できないと言われました。それ以上何も言えなかったで、そのまま欠勤扱いで収入が減り、生活が苦しいです。もう少し個人で申請できるようにしてほしいです
- ・ コロナで園が何度も休園になり、休職した。休職補償制度については知っていたが、急な休みで職場に迷惑をかけているのと、他に対象者がいなかったので言い出しにくく、利用できなかった
- ・ コロナの影響で保育園に子供を預けることに抵抗を感じる。もし預けて感染させたらどうしようという思いがあり、利用を最小限にしている。
- ・ 新型コロナウイルスの影響で保育園が休園になり仕事を休まなければならない状況の時は本人の体調を見ながら近くの保育施設に預けられる制度があれば良いなと思いました
- ・ 病児保育、病後保育に登録していますが、1日あたりの受け入れ人数が少なすぎて利用ができない。(中略)コロナで高齢の祖父母に体調の悪い子供を預けることに抵抗があり、この制度がもっと気軽に利用できたらありがたいと思います。
- ・ パートをするときには必ず「お子さんが病気になった時に面倒を見てもらえる人はいますか」と聞かれ、いないので「いない」と言うと落とされ、子育てサポートに登録したがコロナのせいで熱が出ても預けられない等、結局意味がなかったので、融通の利く職場でしか働くことができず、大変なパート(営業)になってしまった。
- ・ コロナのため児童センターが閉まってしまうことが多く、子供達が児童センターで先生や友達になれても、会うことができなくてさみしい。人数制限をしたり屋外を利用したイベントを行ったりして、なるべく利用できる日を増やしてほしいです
- ・ 子供の発達障害について3歳児健診で相談したかったが、コロナ拡大のため中止になり、相談できないでいる。受けられる健診も受けられなかった。
- ・ 子育て支援センターがコロナの影響で、週1回のみ予約制になったのが大変使いにくい
- ・ コロナの影響で子供のイベントや園の行事の中止や縮小が多すぎて、不満に思います。
- ・ コロナに感染した時の日用品支援物資に女性用生理用品の他に乳幼児用のミルクとオムツ

もあればありがたい。

- ・ コロナの影響で立ち会い出産ができず、上の子ども一緒に泊まる事ができない環境はなんとかしてほしかった。

D) 「世帯」「非課税」「給付」「税金」に関連する記述

- ・ 児童手当だけじゃ足りません。ましてやたまに給付される1万円等の給付金でも全く足りません。
- ・ 所得が低くても非課税（道市民税）とならないギリギリの収入で色々な手当が変わってくるのは不満。頑張ると所得を上げると様々な手当が減る。自分の体調が悪くても働き続けなければ子供が困る。ひとり親の大変さはひとり親にしか分からない。もっと痛みを知ってほしい。大学に行かせたくても行かせられない現実がある
- ・ 児童手当やコロナ補助金を世帯年収で決めるのは不平等。共働きで同じ年収かそれ以上の世帯が手当を受けられて、世帯主のみの収入で手当がないのはどうかと思う。
- ・ 所得制限対象の我が家ですが、子供の医療費補助や児童手当、昨年の子育て世帯給付金は全て対象ではなかったり、児童手当は減額して受け取っている状態。住民税や税金は多く取られるばかりで、一生懸命働いても意味がない。0～2歳の保育に関しても、これから私が仕事復帰のため入園しましたが、結局4万円ほどかかり、支出が増えるばかり。
- ・ 保育園料も非課税世帯は無条件で0円なのに、共働きのため保育料だけで10万円取られるのは働いている意味もなくなってしまう。
- ・ 0～2歳児の保育料も無償化してほしいです。支払のために働くと世帯収入で高収入扱いになり、税金・保育料が高くなり困っています
- ・ 現在、夫と別居中であり、生活費は一切渡されていないため、一部の地域では保育料を軽減できる（夫の収入を世帯収入として見ないで保育料を算出して貰える）とインターネットで見たので役所に相談したところ、「ウチの自治体ではそのような対応はしておらず、離婚が成立してから手続きして下さい」と言われた。各家庭の事情を踏まえ、もう少し柔軟な対応を求めます
- ・ 臨時の給付金が世帯主への一括支給だと実際に子供や世帯主でない人に届かない（自分の口座に入っているからと、子3人と私の合計40万は貰えなかった）。
- ・ 現在3人の子育て中で、4人目を妊娠しています。（中略）兄弟3人を近くの保育園に入れることができず、復職の目処が立ちません。多子世帯に対する経済的支援の拡充や働きやすい環境（就業時間や保育園同時入園の優先など）がもっとあれば良いと思います。
- ・ 育児休業給付金の支給が遅い
- ・ 現在シングルマザーですが、児童扶養手当が0円になっています。去年の所得で決めていると市役所職員から伺いましたが、退職金にて一時的な所得増であり、現在の月給では生活+貯金でギリギリです。（中略）児童扶養手当について今年度の見込み所得で給付を再開して頂ければと思いました。
- ・ 自営なので実際の収入は少ないのに、国からの10万円給付は全体の収入（税金や経費が引かれる前の）で判断されもらえず、とても不平等だと思った
- ・ 税金の優先順位を決めて未来のために投資していくべきと思います。子供の医療費無料や大学までの教育費無料など、日本の将来のために本当に必要なところにお金を使ってください。

- ・ 重度障害児に対する日常生活用具給付（ストマ装具）の額が少なく、大きな負担となり、貯蓄が大きく減少している。
- ・ 高等職業訓練促進給付金とは国家試験を受けるための学習費用の負担軽減を目的としているなら、なぜひとり親限定なのか
- ・ 本当に支援が必要な人や世帯になると、そもそも情報にアクセスするだけの知識がないのではないか。周知の方法をもっとかんがえた方がよい
- ・ 子供がいる世帯が利用できる制度は具体的に何があるのかHPなどで知らせてほしいです。どんな制度があり、自分達はどの制度を利用することができるのか、いまいちよく分からない

(イ) 「保育」「利用」「預かる」「一時」等を含むカテゴリ

A) 「保育」「保育園」に関連する記述

- ・ 本当に保育所には入れなくて困っている。いつまで待機させられるのか。市役所では調整すると言っているが、何を調整するの？本当に少子化なの？ずっと待機児童でいっぱいです。「日本死ね」の意味がようやく分かった気がする。
- ・ 保育は基本的に1年なのに、年度途中で入園することはほぼ不可能というのはどうかと思う。今の政府は本気で母親の復職を支援するつもりはないのだとしみじみ感じた
- ・ 上から高校生、中学生、小学生と1歳児なので、第1子扱いになり、半年毎に保育料の見直しがありますが、最初は保育に入る前の収入が対象なのですごく高く、経済的にすごく負担になっています。一番お金のかかる中高生が上において実際は第4子なのに第1子扱いで満額というのは、なんだかしっくりきませんでした
- ・ 保育料が高すぎる。仕事を頑張った分だけ保育料も徴収されているような気分。
- ・ 保育料が収入により変化するのは理解するが、子供が休む場合、日割り換算してほしい。月の半分も行かない場合でも同じ保育料はおかしい
- ・ 保育園の入所条件が「月〇時間以上の就労」等があるが、家事をして家に居れば労働ではないと言われているようだ。核家族時代、ワンオペ家事は自宅で子供を保育しながらできる労働なんだろうか。
- ・ 隣市の認定こども園を利用しているが、隣市民であるためフルタイム働いても延長保育料がかかる。1日450円の補助では足りない
- ・ 一時保育やファミサポ、病児保育等、手続きが大変な上に利用したい時に即日で利用できないため、かなり不便で不親切。
- ・ 病児保育をよく利用させて貰っています。(中略) 施設が現在市内で1カ所(1日3名)と大変少なく、もっと体制を整えてキャンセル待ちをしなくてもすんなり預けられるようになると、働く親の負担がかなり減るかなと思います
- ・ 病児保育は、受付時間が短い、預け時間が短い(8時~18時だと、フルタイムで通勤時間を考慮すると、預けるのが難しい)など利用が不便。
- ・ 体調を崩し、車で片道2時間かかるかかりつけ医の所に行こうと思いましたが、保育所も児童館も「働くお母さんのための施設だから」と預かってもらえず、ファミリーサポートなどの支援のない自治体の役場に相談すると、「遠方の親に住み込んでもらい面倒を見てもらってください」など非現実的な回答をされました。(中略) 未だに病院へ行けていません。
- ・ 保育所に通っている子は子育て支援センターの教室を利用できない。平日仕事が休みの時

や早く仕事が終わったとき等、気軽に行ける所がなく、ママ友と呼ばれる人もできず、孤独感を感じる事がある。

- ・ 子供の保育、教育にかかる費用は全て無償化してほしい。北海道は少子化が進んでいるのに、何を対策しているのか分からない。
- ・ 仕事を辞めるわけに行かず、学童保育や預かり保育に頼らざるを得ない状況です。(中略) T町の取り組みを見ると、月謝がかかるため希望家庭のみですが、学童保育施設からさほど離れていない場所で、手芸・そろばん・書道・ECC英会話教室等、官民が協力して曜日替わりで取り組みを行っているようで、T町のように子育てを町全体で考える取り組みを義務化して貰えたら、子育ても充実し、親として安心して子を預けられると思います。
- ・ 幼稚園・保育園・学校にクーラーを付けてほしいです(市へ要望を出したことがあります)が、資金不足のため却下されました)
- ・ 保育士等の給与を見直すべきだと思います。安月給で人様の子供の面倒を見るのは、どのブラック企業よりもブラックだと思うので

B) 「預かる」「一時」に関連する記述

- ・ 保育所は基本的に、親の私用で子供を預けられない方針だと思いますが、リフレッシュ目的の一時預かりは認められているのに、通常保育で認められないのは何故でしょうか。私用での利用も、午前中に用事が終わったら迎えに来るようにという案内があります。子供がいないときに家事をしたり買い物を終わらせ、子と向き合う時間を作るためにも通常保育にもリフレッシュ目的(このフレーズも邪険にとられると思いますが)で預かってもらいたい。世の母は絶対に疲れていると思う
- ・ 出産検診時、上の子供の預け先が見つからなかったり、一時預かりも妊婦検診は私的利用になるのが納得いきません。実際、通院・リフレッシュや用事での預かりはほとんど受けてもらえません
- ・ 保育園の一時保育は利用できない事が多く、病院や歯医者へ行けない。半日でもどこかで預かって貰える場所があると、自分の病院等も行きやすい。児童デイ等、空きがある施設での一時保育事業など、子供の預け先の拡充してほしい。
- ・ 幼稚園入園前、親の介護をされていて、一時保育を利用したいと思っても空きがない、急は無理とWケアだったのでとても大変だった。Wケアの人もいると思うので、そういう人に子育て支援と介護支援が協力して何か対策が出来れば良いと思った
- ・ 里帰り出産の際、上の子の一時預かりを利用しようとしたら自治体で行っておらず、一軒一軒の園に連絡しなければならず手間がかかった。おまけに料金も高額で躊躇したが、私の両親も働いており、日中の預け先として利用を決断。事前面接し利用時期を伝えていたが、いざ利用しようと連絡をすると、人手が足りないからと断られた。(中略)道から自治体へ一時保育のための要員確保を促す、もしくは制度・サービスとして確立してほしい
- ・ 双子のため一時保育に3,000円×2になるため預けにくい。双子家庭への2人目半額などの助成を手厚くしてほしい。
- ・ 一時預かりやファミリーサポートは事前に登録が必要で面倒
- ・ 一時預かりは利用したいが、あるあるとだけ書いていて、具体的にどのように申請するのか分からない。利用するのも周りの目や抵抗もある
- ・ ファミリーサポートセンターを利用したいと思っていたが、いくら研修を受けたといえ、

国家資格無保持者に1対1で子供を預けようとは思わない。安心して子供を預けられるように有資格者に担ってほしい。

- ・ 一時保育について、申込日の電話が繋がらない。つながっても全日キャンセル待ちで、これでは利用したくてもできない。託児所も、コロナもあって仕事をしている人以外預かってもらえない。ファミサポはご時世、気持ち悪くて（イメージ）利用できない。一時的に保育してもらえる場所、一時保育を増やしてほしい。「月3日まで」等、条件付き一時保育があれば、もっと枠も空くのでは？と思う
- ・ 引っ越してきた時、色々な手続をしに役所へ行ったが、職員の対応が親切でなく、良くなかった。役所の子供課で一時保育の事など何も教えてくれず、手続に何度も足を運んだ。

(ウ) 「生活」「母子」「家庭」を含むカテゴリ

A) 「収入」「生活」に関連する記述

- ・ 生活保護を受けたかったが、身内に助けを求めろと言われた。誰も助けてくれる人がいなくて、生活が苦しく、子供に1日1食しか食べさせられなかった。今現在も生活保護は貰えていません
- ・ 子育ては長期的にお金がかかるのに母子家庭への支援が少なすぎる感じがします。離婚調停中でも父方の書類提出を要求されたり、籍が抜けてないので対象外だったり、配慮もデリカシーもない。子供の可能性を親の収入が原因で狭めたくないですが、女性の収入と男性の収入には差があり、自分が我慢して夫婦生活を続けていけば良かったのかと日々自責の念にかられています
- ・ 値上げばかりで食費が上がる。多子世帯には厳しい。収入があっても、お金はほとんど教育費にもっていかれる
- ・ 子供をたくさん作りたいけど、国からの支援が少なすぎて、これからの生活も不安でしかない

B) 「母子」「家庭」に関連する記述

- ・ 母子で生活しているが、別居のため母子家庭ではなく、ひとり親制度を利用できない
- ・ 母子家庭で祖父母と同居していますが、子供達を扶養し生活費を負担しているのに、同居している祖父の所得が高いせいで児童手当が貰えない。祖父（父）に養って貰っているわけじゃないのに、おかしいと思う
- ・ 母子家庭だから受けられる手当は全部受けたいけど、全て把握できていないと思う。自分で調べるのも億劫で結局放置してしまっている
- ・ 母子家庭ですが、私が急な病気や不慮の事故で死ぬと、子供達の将来はどうなるのか常に不安を感じ心配しています（祖父母は健在ですが、ヤングケアラーにはさせたくない）。実際にそのような状況になった人がいないので、モデルケースのような、フローチャートのようなものが検索できたり、パンフレットがあると安心できるかなと思います
- ・ 市の3歳児健診の時、保健師に心ない言葉を言われて以来、市役所の相談窓口や保健師への相談に抵抗があります。もう少し母子に寄り添ってくれればと思い、この健診で言われた事が悔しくて忘れられません
- ・ 現在よりも出産前のつわりの時期にこそ、助けてほしかったです。母子手帳をもらいに行っているのだから知っているはずなのに、何一つ声かけもなかった事はとても残念です。だからこそ2人目は考えにくい現状です。

(エ) 「相談」を含むカテゴリ

A) 「相談」に関連する記述

- ・ 役所の子育て支援課窓口の対応が少し不親切。働いているため手続き等分からないので相談しに行ったら、対応した男性職員は働く女性が増えていることに対して反対的で全く理解せず、何の為にもしなかった。またネウボラも相談しに行ったが、担当保健師によっては言い方がキツく、全く意味がないと感じ、もう二度と利用しないと思った
- ・ 市の窓口へ相談に行っても「大変ですね」の一言で具体的な解決策は教えてくれず、何の為に窓口なのか分からない。それらに必要な書類を市役所へわざわざ取りに行かなくてはならないのも時間のない子育て世代の孤立を後押ししているのでは？ネットから印刷、もしくはWeb提出など時代に合ったやり方に移行してほしい
- ・ 子供の事で困り果て、土日だったので相談窓口を探して児童相談所に電話したが、乳児のことは分からないとだけ言われた。土日に相談窓口を設けるなら、他の施設を案内するか、せめて話だけでも聞いて貰いたかったし、対応の仕方を考えてほしかった
- ・ 市役所職員の態度が悪く、気軽に相談できない。土日しか時間がない人は市役所には行けないので、土日祝にやっている窓口や相談場所を増やしてほしい
- ・ 地域によって子育て相談窓口が異なったり、支援センターの利用のしやすさ相談しやすさが異なっていたり（S市の方が質が高く相談しやすい）、戸惑うことが多々ありました。
- ・ 一度、子育ての相談を保健師にしたところ心ない言葉をかけられたので、それ以降、引越したなどの市町村でも相談は控えている。
- ・ 発達障がいについて相談できる場所・病院がもっとあれば良いのと思いました。あちこち電話をかけても「うちではやってない」「新規の受付は無理」等の返答が多く、途方にくれてしまいました。予約できても半年から1年待ちがザラ。困っているのに相談できる場所がないのは辛かったです
- ・ 結局は制度のことをよく知っていて確信を得た上で調べたり相談しないと、受けられないものがほとんど。漠然とした相談は話を聞いて貰うだけで解決することはない。自分の時間もほとんど確保できないのに、調べる時間もない
- ・ 病院以外にアレルギーに対する相談先やアレルギー対応食を取り扱っているお店の情報が知りたいです

(オ) 「保健」「検診」を含むカテゴリ

A) 「保健」「検診」に関連する記述

- ・ 子供の発達障害について3歳児健診で相談したかったが、コロナ拡大のため中止になり、相談できないでいる。受けられる健診も受けられなかった
- ・ コロナの影響で5歳児検診が予約制になり行きづらくなったり、コロナ前より子供のことについて知る所や気軽に聞きに行く機会がないと感じることが多い
- ・ 第一子の赤ちゃん健診の時、「困ったことはありますか」と聞かれ、経済的な事を相談したら、「みんなそうだから、そういう時期だから」と言われ恥ずかしくなりました。
- ・ 1歳6ヶ月検診を受診した際、計3時間ほどかかり、お昼を挟んでいたため子供達も機嫌が悪くなっているようで、待ち時間が少し長いなど感じました。
- ・ 1歳半検診の時、どうして親はせかされて、言うことを聞かない子供を追いかけながら、あちこちの部屋の中を回り、親子ばかりが大変なのでしょうか？大人があんなにしながら自

分の持ち回りに座って、親子がマイクで呼ばれてくるのを待つだけ。あの検診の方法は古くないですか（中略）着いたら子は保健師さん達で見て、お母さんはリフレッシュしてきて下さいというようにして下さい。2時間超えて子供をおとなしくさせておくのは無理です

- ・ 子供の検診が地域によって行われる時期がバラバラ。1歳半、10ヶ月、3歳しかやってないようで、時期や検診の内容も全国的に統一してほしいです
- ・ 市で行う子供歯科検診の時間帯が幼稚園終わりだとギリギリなので、もう少し時間を延ばして欲しい
- ・ 市の児童支援発達相談を通して、母子共に本当に救われました。1歳半検診で声をかけて貰ってから、色々な施設や支援があることが分かり参加してみました。本当に親身になってかかわっていただき、家で息子と笑える日が増えました

(カ) 「医療」「助成」を含むカテゴリ

A) 「医療」「助成」に関連する記述

- ・ 乳幼児医療費助成制度の入院・通院共に全額助成になる対象が6歳までと短く、今後が不安である。また、6歳未満で入院し医療費は助成されたが、食事やアメニティー代が高額、かつ付き添い入院となり、その間の食事代が必要であった。その間、休業せざるを得なく無給となる。更に先天性の疾病のため入院・手術が必要な場合においては医療保険への加入が困難である。コロナ禍で付き添いの交代は禁止され、病衣・タオル等のアメニティー申し込みは推奨される。入院費のために働きたいが入院中は困難であり、配偶者は難病となり、収入低下のため今後貯蓄がなくなることへの不安がある
- ・ 子供は小児がんになり、（中略）長期的な医療を受けながら日常生活をおくるにあたり、制度やサービスが少なかったり、申請しても通らないことが多いです。外来のために前後泊ででかけたり、このままだと自分自身が働くのは厳しいと思う事もあります。医療の発展に合わせ、様々な子供への支援も発展してほしいと願っています
- ・ 住んでいる市では3歳から医療費の負担があり、正直とてもキツイ。すぐに風邪を引くので通院すると、週に千円、子供にかかるので、自分は風邪を引いても我慢することが多い。物価は上がっても給料は変わらないので、児童手当を増やす、医療費は全国一律にしてせめて中学生まで無償にしてほしい。
- ・ 高校生まで医療費の助成があれば良い
- ・ それぞれの市町村によって子供医療費の免除額が異なるのをどうにかしてほしいです
- ・ 子供の医療費助成の「乳幼児医療費受給者証」を、所得が多い世帯は受けられないのはなぜか。所得が多いということはそれだけ税金も多く収めているわけだから、そういう助成に制限を設けるのは止めてほしい
- ・ 夫婦ともに医療関係者ですが仕事が忙しくなり、本当に子育ての両立は辛かったです。医療関係者への支援が何かあれば嬉しかったです

(キ) 「遊べる」「施設」「場所」を含むカテゴリ

A) 「遊べる」「施設」「場所」に関連する記述

- ・ 室内遊び場や1歳くらいでも遊べる駐車スペースのある公園など、子供がのびのび遊べるところを増やしてほしい
- ・ 乳幼児が午後でも遊べる屋内施設をもっと増やしてほしいです。雨の日や雪の日も身体を使った遊びをさせたいと思う事がありました。特に日祝は市の施設が開いてないので。小さ

な幼児用（1～3歳）の遊具のある公園や地面がゴム製のような物が貼っている所など、遊びやすい場所の情報がネットでほしいです

- ・ 無料で天候に左右されない遊べる場所があれば利用したい
- ・ 暮らしている地域にもっと遊べる場所や習い事をする施設がほしい。遊具のない原っぱや少ない遊具のみなので、子供が遊びやすく集まれる公園をもっと作ってほしい
- ・ 街中より少し離れた場所に暮らす子供達は遊び方、学校、習い事の実行が限られてしまう。子供の未来を考えると町中に引っ越したいが、両親の仕事が町外れだったり、子供の転校はかわいそうなので、暮らしを変えるというより、今暮らす地域にもっと実行があって、様々な習い事にも挑戦できるようになれば良い。

◆ 2歳児・5歳児の保護者回答まとめ

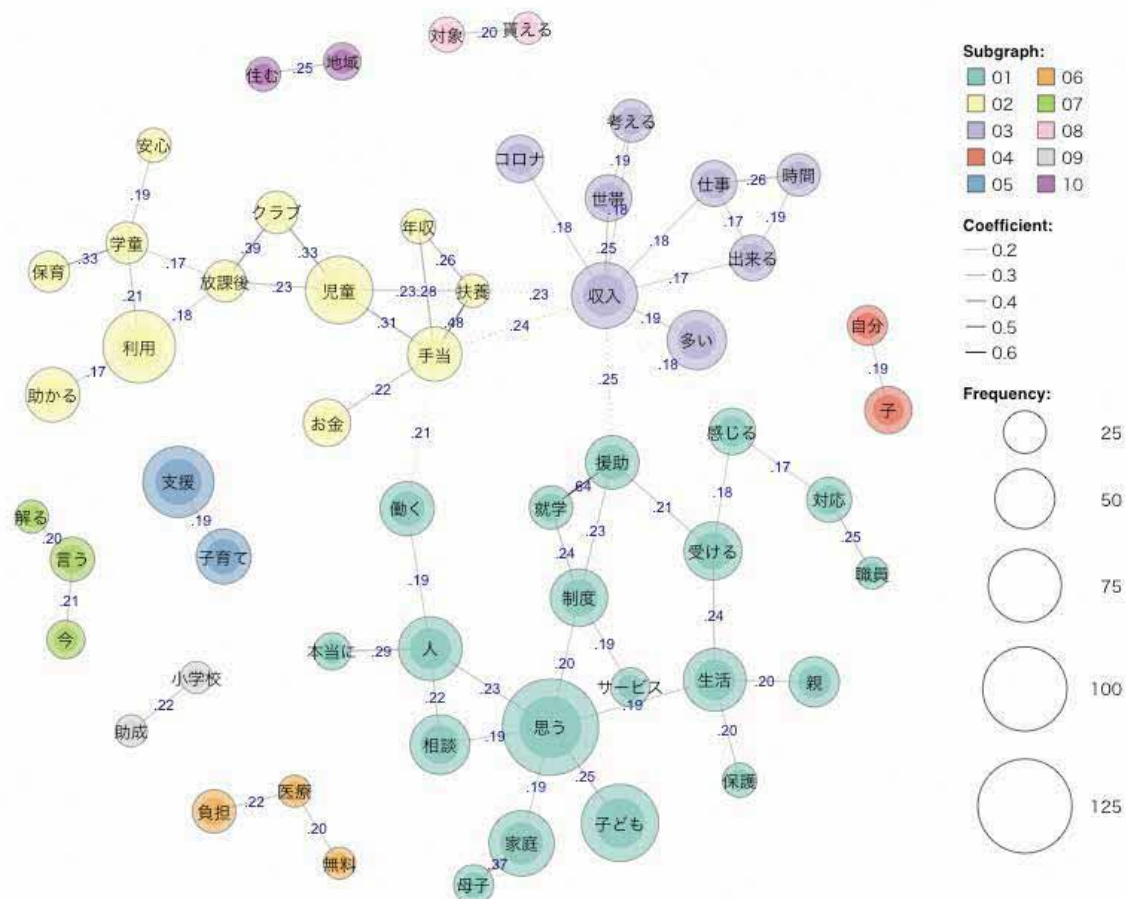
- ・ 自治体によって、医療費等の財政的支援や保育施設利用条件、子どもを遊ばせる場所などの子育て環境が異なることに不満の声が寄せられた
- ・ 就労していないことが理由で保育所に入れず、保育所に入れないと就労できないという矛盾に困っている方や、仕事以外の用事・家事・体調不良時や、仕事がある土日祝・夜間に子どもを預ける場所がないことに困っている方がいた
- ・ コロナによる閉園・学級閉鎖で仕事を休まざるを得ず、困っている方がいた
- ・ 児童手当・コロナの補助金・保育料等を世帯年収で決めることが不公平であるという声や、多子世帯への支援が薄いという声が寄せられた
- ・ コロナの影響で検診が中止になり、子どもの発達相談ができていない方がいた
- ・ 子どもが遊べる室内の遊び場を増やしてほしいという声があった

② 小学2年生の保護者

242名から回答が得られた。(総抽出語18,219、異なり語数2,118、818文、242段落が抽出された)

回答の中に14回以上登場した単語の中から、語と語の結びつきの強さを表すJaccard係数が高かったもの上位60件を取り出して図示したものが以下である。

結果図から得られたカテゴリを元に、それらの単語を含む自由記述を一覧化した。内容が重複したカテゴリを除き、以下の5つのカテゴリが得られた。



(ア) 「世帯」「収入」「仕事」「コロナ」を含むカテゴリ

A) 「世帯」「収入」に関連する記述

- ・ 両親が2人とも働いていても、子どもが3人以上いる家庭には、ひとり親家庭のように児童扶養手当も出してほしい。子どもが多いからこそ、両親で働いているけど、子どもがたくさんいる分支出も多いから、ひとり親や低所得世帯と生活水準はかわらないと思う。(中略) 専門、短大、大学等もっと学生にお金の負担がないような、貧乏な家庭でも通い続けられるような方法にしてほしい。
- ・ ○歳～○歳の子にとか、小学校に同時に2人以上なら、と言う制度ではなく、「1世帯に0歳～成人までの子供が何人いるか」で見てほしい。
- ・ 父母の収入が多いほど、受けられる援助制度、金額が高くなることに疑問。収入は多いが、それだけ家族や子供と過ごす時間は少ないのに、負担額を多く払う制度に不満です
- ・ 母子家庭の公営住宅や児童扶養手当の収入上限が低すぎて利用できません。頑張って働い

て（子どもの時間も削って）赤字ギリギリ。働かず、子どもとゆっくりしている母子家庭の友人は補助を受けてゆとりのある生活。働き損のように感じます。平等に支援を受けられるようにしてほしいです

- ・ 離婚調停中に住まいを探さなければならなかったが、婚姻中であることで、市営や道営住宅の申し込みをしても、年収が高くなるため申し込みが困難となりました。調停中であっても、優先的に入居できるような対応をしていただけたら助かると感じます。行き場を失う絶望感を感じました
- ・ 前年度の収入が対象のため、入学準備品（制服代）等を支援して貰えなかった。失業して金銭面に余裕がなくキツかった。

B) 「仕事」に関連する記述

- ・ 学童保育の時間延長が出来るようにしてほしい。18時までだが、利用料を支払ってもいいので、19～20時頃まで利用出来るようになれば、仕事の時間が増えて、収入の増加につながる。仕事の時間制限にかかるため、貧困が増えると感じる
- ・ コロナ禍で休校のために仕事を休む必要が多く発生したため、子供が風邪で学校や保育所を休む時、有給休業を取得するのが難しい状況でしたが、そんな時でも条件を満たすことで病後児保育を利用できたのは大変助かりました

C) 「コロナ」に関連する記述

- ・ 新型コロナにより収入に減少があったが、児童扶養手当を受け取ってない時期であり、申請できませんでした。
- ・ コロナ対策で兄弟が風邪の症状があって、上の子も休みとなると幼児がいる家族は頻繁に休まなくてはなくなり、学習の遅れが心配です。フォローしてくれているのか不明です。ZOOM取り入れたので、家庭でも授業を見られるようにするか、して下さると助かります。休校もなるべくない方がいいです。家だと小学生の1人学習は難しいです
- ・ コロナウイルス感染拡大時は学校を休校にしてほしい。市内で感染者数が多い時、登校させるのが不安だった
- ・ コロナ禍において、親（私）が2人とも感染し、子どものお世話を出来なくなった場合、どのようにサポート先があるのかが分からず、不安でした。各市町村から案内などがあれば、少しは安心したと思います。
- ・ コロナの影響で、以前は学校へ通えた程度の風邪症状でも休まなければならなかったり、兄弟で風邪症状があると休まなければならず、1週間くらい休まないで完治しないため、母親は仕事を休む事になり、パートの給料が貰えない。そういう点の保障がなく、とても困った
- ・ コロナによって娘は約1年半色々な制限のある小学生生活をおくっており、この状況が当たり前になってきている。もっと伸び伸びと生活、学習できるようになってほしいと日々願っている
- ・ 職業は看護師ですが（施設）コロナウイルスに感染するリスクが高い職業なのでもっと危険手当を国をあげて高くして頂きたい。（中略）感染リスクを背負ってまで働きたいと思えない時期、家族へ迷惑をかけてしまうといった悩みもありました。

(イ) 「生活」「保護」「就学」「援助」「制度」「母子」「家庭」「相談」を含むカテゴリ

A) 「生活」「保護」に関連する記述

- ・ 月の収入が大きく減少し、先の生活費が10万円以下になると思い、生活保護の相談に行きましたが、仕事をしていることもあり、車は必要だったので「車は手放せ」との条件を満たせず、受理されませんでした。(中略) 今、現に私1人の収入10万円弱で生活していますが、1ヶ月は支払いと生活費では足りない状況です。もう少し柔軟に対応してくれる制度や体制であればいいと思います
- ・ 失業もし、明日食べるお米もなく、もうだめだと思い、生活保護の相談をしたら「まだ若いんだからがんばって」で帰された。一時的にも助けてほしかった。
- ・ 色々なものが値上がりする中、給料だけは上がらず、生活は苦しくなる一方です

B) 「就学」「援助」に関連する記述

- ・ 就学援助制度や給付金等、受けられないものがほとんど。年収や家族構成だけで判断するのはやめていただきたい。
- ・ 就学援助制度を利用したいが、生計は別でも両親と同居していることで利用できない。自治体によっては、同居でも生計が別であれば(世帯主が別)利用できるのでは、不公平だと思う。
- ・ 就学援助を受けさせて貰っていますが、離婚してお金がなく、すぐに必要なのに、手続きに時間がかかり、認定していただいても支給が数ヶ月後に〇ヶ月分まとめて・・・、など、すぐに支援を受けられないのが残念です
- ・ 就学援助はもっと広まれば、利用する人が多くなると思う。生活保護と同等ととらえられる文面もあり、サービスを受けるときに抵抗があった。
- ・ 就学援助制度を利用すべき家庭で、書類の書き方が分からずにあきらめてしまう人がいるようだと言います。書類の不備を指摘され、書き直しを繰り返すうちにあきらめてしまうようなので、手助けできるような仕組みが必要なのではと思う
- ・ 就学援助・給食補助制度等が該当する家庭には、伝えてくれれば、簡単に手続きできるのと思います。資料を見ていても、ウチは該当するのかどうか自信がなくて、わからない
- ・ 就学援助はこちらから申し込まないと受けられませんが、自動的に対象になる家庭に援助して貰えたら良いと思う
- ・ 就学援助制度がどういうものかイマイチ解りません。いま現在も本当に生活が苦しくて大変です
- ・ 就学援助を受けると、担任の先生に分かってしまう。個人情報なので、知られたくない
- ・ アンケートを読んでこんなにもたくさんの援助があるのを知りました。調べ足りなかった自分もありますが、市役所等でも色々教えていただけるとありがたいと思いました。

C) 「制度」に関連する記述

- ・ 田舎なので、制度やサービスは老人向けのものしかなく、特に病児保育は、頼る人がいない私にとって、とてもうらやましいです。子どもが学校に行こうとすると心因性で歩けなくなってしまった時に、何の対応もしてもらえませんでした
- ・ 会社では、休業を指示しておいて、特別休暇を取らせてもらえず、半年後に小学校休業等対応助成金制度があることを知り、窓口で相談したところ、半年前の欠勤も要求できると助言を受け、助成金を頂くことができました。もっと強制力のある制度があったら、会社と揉めずに済むと思いました

- ・ 放課後等デイサービスを利用するため、市役所で手続きをする際、窓口の名称が「障がいグループ」となっており、他の人に見られそうで、手続きしにくかったです。(中略) どんなに良い制度もサービスも手続きしなければ使えないのに、手続きに行きにくいのは問題だと思います
- ・ 制度やサービス支援策について、まずどこで相談出来るのか知らない。もっと世の中に周知させるべきだと思う。
- ・ 自分で調べ情報を取りに行かないと、制度やサービスがある事はわからないので、もっと広く情報提供すべき。

D) 「母子」「家庭」に関連する記述

- ・ 母子家庭であるを知っていながら父親の方へ連絡をしてしまったせいで、今でも父親からの被害が続いている (DVから逃げて家を出てきた身としては、このような先生のミスはあり得ない)
- ・ 母子家庭が住む市営住宅などが少ないのが不満です。民間アパートを借りるのは家賃が高く、生活費に影響が出てしまいます

E) 「相談」「職員」「対応」に関連する記述

- ・ 市役所は働いている人がほぼ近所の人ばかりで、家庭の情報が漏れているのではないかと気になる。知っている人ばかりで、相談なんて絶対に出来ない。
- ・ 田舎なので、どこで誰がつながっているかわからないので、あまり相談しない方がいいのかなと思う事がある。地域によって、子育てのしやすさに、とても差がある気がする。幼稚園から中学校まで、ほとんど一緒に過ごす (子ども)、親がいろいろ気をつかったり、プレッシャーなどで、人と話したくなくなる事がある
- ・ 子育て支援センターで相談したことがあるが、そのときは親身になって聞いてもらえても、その後のことはその場に行かないと相談できない。相談したくても、話によっては長時間になり、なかなか時間を割けない。簡単に相談できる何かがあると助かる
- ・ 就学前の検査の時に、子どもの相談があり、状態をみてくれ、アドバイスをもらって、すごく参考になった。小学校に上がってから専門的な人に身近で相談しやすいところがあると助かる
- ・ どのタイミングで誰に何を相談すればよいか、本当に助けてほしいときは声をあげにくい。人の目も考えてしまう。楽に相談したり、話せる環境作りが大事だと思う
- ・ 行政の窓口にはとても親切な人もいるが、大抵は相談することによって反対に傷つけられるため、できるだけ行きたくない。
- ・ 各窓口の対応が冷たかったり分かりずらかったりと、聞きたいことがあっても足が遠のく。短い期間で人事異動しなければならないことは仕方ないと思うが、その度に対応に差も出るし、待たされるし、同じ事を初めから話さなくてはならなくなる。
- ・ 市・行政が行っている相談窓口の相談時間は平日昼間のみが多く、フルタイムで働いている者には、迷っている時は特に、時間で相談を諦めてしまうことになるのではないかと。深刻な状況になると平日昼間でも相談しようと思うが、その手前だと、仕事時間中だからと諦めてしまい、状況は悪化してしまうように思う。

(ウ) 「児童」「手当」「放課後」「学童」を含むカテゴリ

A) 「児童」「手当」に関連する記述

- ・ 児童扶養手当について、実家に住所があるだけで、対象にならないのが困った。(中略) お金がなくて、アパートを借りられないから、手当が出るまで実家にいたのに、もう少し、個別の状況に応じて臨機応変に対応してもいいと思う
- ・ 児童扶養手当の限度額を少しオーバーしただけで、支給停止の通知を受け、児童扶養手当を頂いている最中でも就学援助は受けられなかったりと、ギリギリの生活の中での今後の不安はつきません
- ・ 児童手当が15歳でなくなり、子供が3人いると、抜けた途端に第2子に変わるので手当が少なくなる。(中略) 今後、大学や専門学校など子供に対する支援をもっと手厚くしてくれないと、安心して子育てすることが出来ません
- ・ 出産し、育休後がんばって働いて年収が上がり、手当がなくなるのが不安です
- ・ 現在雇用形態がパート職員として勤務しています。収入が毎月不安定で年収もとても低いですが、そんな中でも児童扶養手当が一部停止になったりします。

B) 「放課後」「学童」に関連する記述

- ・ 市区町村によって、受けられるサービスが違う。児童館など雨の日遊ぶ施設が少ないので、密になり、利用しづらいので利用していない。
- ・ 住んでいる市町村によって、放課後児童クラブの料金がちがうのをなんとかしてほしい。高く働くのをためらう
- ・ 自分の子の小学校区域には放課後児童クラブがなく、他の小学校にはある。同じ市内でも僻地の学校は同様で、それが常態化しており、非常に不満
- ・ 誰でも行ける児童館のような場所が町内にないため、放課後は毎日家で過ごしている。友だちはみんな学童に行っているが、遠方。児童館があれば、家でゲームやタブレットばかりにならないのに、他の遊びが広がるのと思っている。都会と田舎の差が大きいと感じる
- ・ 学童保育の質の向上を進めてほしい。保育や教育の専門資格をもった職員を配置して待遇も良くしてほしい。子の学童は学校から遠いため、真夏や真冬は通所だけでも大変なので、学校内で実施出来るよう整備してほしい。
- ・ 放課後児童クラブについてですが、世間一般に持たれているイメージ(今回の用語説明と同様)と、そこで働く指導員が受ける講習内容の理想に大きな乖離があるので、もう少し学童保育について理解が進むような啓蒙活動をやっていただきたいです。発達障害や虐待について無知な大人(親も含め)が多いです。
- ・ 学童保育の質。基本は家で親が見るものという古い考え方、子供への関わり方、障害児への理解、おやつ(お菓子が多い)
- ・ 学童保育(放課後児童クラブ)に登録していないのですが、年に数回だけ放課後に預かってほしい時があります。ファミリーサポートセンターシステムよりも、学校の図書館を開放し少しの時間だけ待ってられるようなシステムがあれば良いと思います。学校だと普段からコミュニケーションが取れていて安心感もあります。
- ・ 放課後デイ等のサービスをもう少し充実させてほしい。働く親が子供を預けられる場所が少ない。夜間も預けられる場所がほしかった
- ・ 放課後児童クラブを利用でき大変助かりますが、夏・冬の長期休暇時、給食があると

と助かります

- ・ 学童を利用しているが、夏場、室内が暑すぎて熱中症になりかけた時がある。扇風機3台で対応しているようですが、熱風が出てくるので全く涼しくなく、意味がないそうです。必要に応じてクーラーなどの設置をして貰いたいです
- ・ 放課後児童クラブを長期休みの際に利用していますが、毎回、勤務証明書を提出しなければいけないことが負担です。年3回以上になってしまうので、確認が必要なことは解りますが、なんとかしてほしいです

(エ) 「医療」「負担」を含むカテゴリ

A) 「医療」に関連する記述

- ・ インフルエンザなど予防接種、医療系（子ども）のお金を補償してくれる市になってほしい
- ・ 自分たちの住んでいる市だけ子どもの医療費が1割負担なのをやめてほしい。高校卒業するまでに無料にしてほしい
- ・ 子どもの医療費助成を行うのであれば、全ての子どもを対象に行ってほしい。市町村別で、子どもの格差が出るのはおかしいと思う。
- ・ 子供の医療費補助、給食費無償化が市町村によって違うことが不満

B) 「負担」に関連する記述

- ・ スキー学習に掛かる備品購入費用が家計に大きく負担となるため、レンタル等をもっと工夫してほしい。
- ・ 学校の教材は、兄弟で使い回せそうな物を事前に言ってくれば、下の子の時、買わずに済むのに。また全員購入してくださいと案内が来るが、その分、負担になる。
- ・ コロナの特別給付金が、ひとり親世帯か収入減少した世帯に限られるのはおかしいと思いました。収入が減少していなくても、コロナの影響で値上がりしている物もあるし、マスク等、日常生活必需品が増え、とても出費が増え、家計の負担はかなり増えた
- ・ コロナ対策で先生方に大きな負担がかかっていると思うので、先生方の待遇改善をお願いしたいです

(オ) 「子育て」「支援」を含むカテゴリ

A) 「子育て」「支援」に関連する記述

- ・ 進学に関わる下宿費、生活費の一部の支給制度を作ってもらいたい。習い事や部活、スポーツ活動等で無料で利用できる子育て支援用の送迎バス、タクシー等の利用を可能にもらいたい。
- ・ 本年度はタブレット学習のため、子供1人に1台配られました。買ってあげられる生活状況ではないので助かります。ただ毎日、家に持ち帰るわけではないので、家にもパソコンは必要な時代かな？と思う次第です。子育て家庭のみ、そういったパソコン購入の支援も、この先あれば助かるなあと思います
- ・ 共働きで、帰宅まで、上の子は1人で留守番しています。児童クラブは3年生くらいで行きたがらなくなってしまう、高学年の子が行きやすい、サポートの場があるともっと安心して仕事をしながら子育てができると思いました
- ・ とにかく子育てにはお金がかかる。子供5人いると出費がすごい。更に高校へ行くと支援がなくなる。大きくなるほど、かかるお金は大きくなるのに、なぜ支給されないのか。とに

かくお金がない

- ・ 給食費、教材費も高く、毎月大変です。是非、無料にしてほしい。毎月少しでも子供に使える支援金がほしい。
- ・ 子育て支援センターは、子供と遊びに行きがてら、保育士さんに気軽に子育ての相談をしたり、話を聞いて貰え、引っ越して間もない心細い中だったので、すごく助かりました

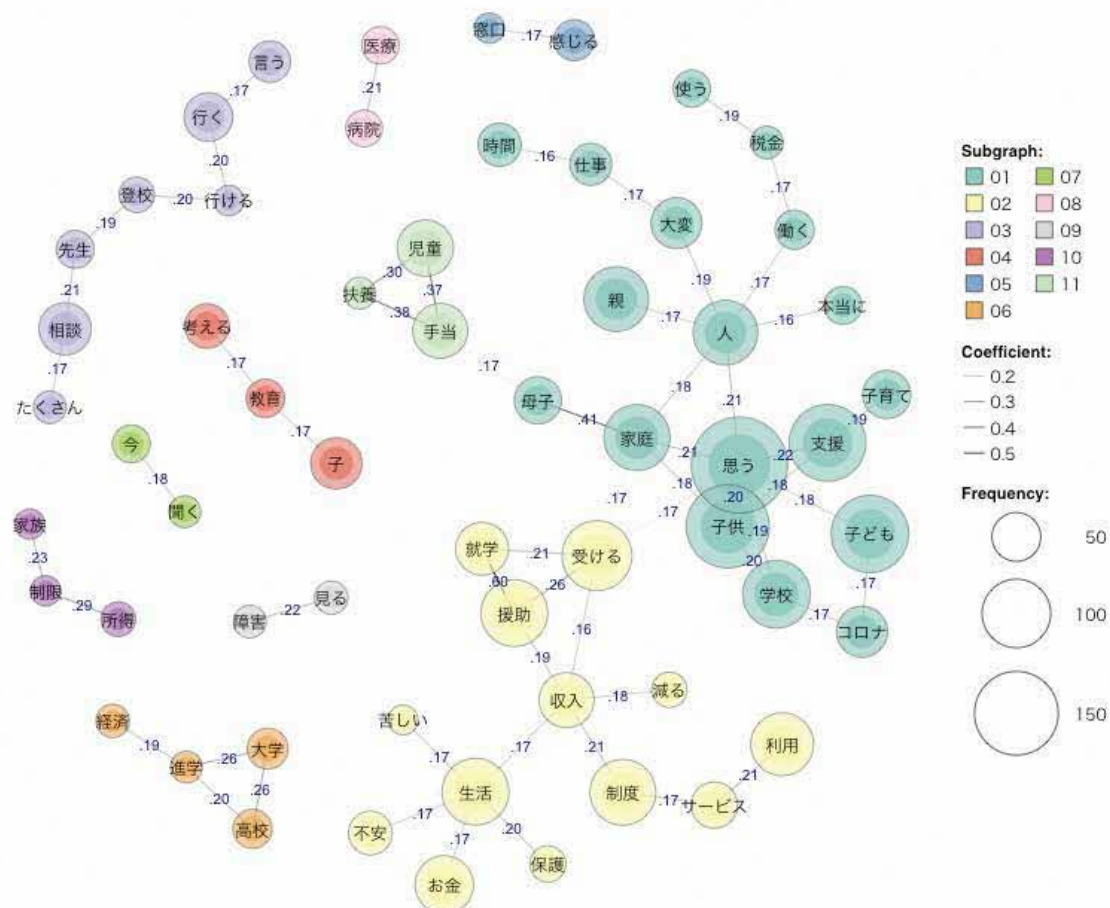
◆ 小学2年生の保護者回答まとめ

- ・ 児童手当や就学援助が世帯収入で決まることへの不満や、多子世帯への支援の少なさへの不満の声が寄せられた
- ・ 子どもの風邪症状で仕事を休む際の給料の保障がないことに困るという声や、子どもの欠席時の学習の遅れを心配する声があった
- ・ 就学援助制度の申請方法や、自分が該当するかということが分かりにくく、諦めてしまう方がいるという声があった
- ・ どんな制度やサービスがあるのか、どこで相談できるのかが分からないという声や、市役所が知っている人ばかりで相談できないという声があった
- ・ 学童保育の時間を延長できるようにしてほしいという意見があった
- ・ 自治体によって児童館や放課後児童クラブなどがなかったり、料金が違ったりすることへの不満があった
- ・ 給食費・教材費・スキー学習の備品購入費などの支援を求める意見があった

③ 小学5年生・中学2年生の保護者

396名から回答が得られた。(総抽出語27,660、異なり語数2,565、1,261文、400段落が抽出された) 回答の中に18回以上登場した単語の中から、語と語の結びつきの強さを表すJaccard係数が高かったもの上位60件を取り出して図示したものが以下である。

結果図から得られたカテゴリを元に、それらの単語を含む自由記述を一覧化した。内容が重複したカテゴリを除き、以下の7つのカテゴリが得られた。



(ア) 「学校」「コロナ」「母子」「家庭」「支援」等を含むカテゴリ

A) 「学校」に関連する記述

- ・ 就学援助を受けています。小学校の修学旅行は集める旅行代金は他の子より安くなった状態で集めますが、中学校の修学旅行は旅行代金を集める時点で他の子と同じ金額です。(旅行後に戻ってくるようですが) 小学校と同じシステムにしてほしいです。
- ・ 制服代が高すぎる。入学時、援助が出たが全然足りなかった。
- ・ 中学校の制服、レンタルにすればいいのにとずっと思っています。わざわざ高価な物を買ってもほとんど着ない事もあり、学校で支給すればと思います。小中学校でかかる負担が多すぎる。
- ・ 北海道の小学校はほとんどが体操服はなく、ジャージを自分たちで買うので、ジャージ代がすごくかかる。そしてすぐ穴があくので、買える子と買えない子がいます
- ・ 中学校の部活も部員が少ないからと廃部になり、クラブチームに入れなければならず、お

金の面で困っている。他の学校と合同でチームを作るなど何も対策を取ってくれないことに大変不満を感じている

- ・ 中学等の部活動での送迎が負担に感じる。休日や時間外の練習や試合が多く、遠方だったり、予定が立たず困る。出来る限りのサポートをしてあげたいが、学校側もマイクロバス利用など検討してほしい。
- ・ 学校で使うワーク代等は勉強に必要なので、支払ったりするのは理解できます。でも、活動していないPTA会費は金額の変更がなく、理解できませんでした。入会した覚えがないのに督促も届きます。困っています。私たちや子どもの情報が勝手にPTAに流れているようで、誰に話せば退会等（そもそも入会した覚えがない）ができるのかもわからない状態です
- ・ お金がかかるのでネットをつないでいないのに、スマホもないのに学校がタブレットになり、家庭へ持ってきても何も出来ない。さらに通信費は有料だと言う。量が多いので無制限でとの事もある。そこに対しての支援はないのかなと思います
- ・ 学校にスクールカウンセラーを常においてほしい。子どものケアを少しでも緩和出来る環境をつくってあげたいです
- ・ 学校で友人、先生とのちょっとしたトラブルがあり、何日間か学校を休んだことがありました。子供が担任の先生と話し合うのが怖いというので、私が担任の先生にスクールカウンセラーと話ができないかと申し出ると、他の子供でうまくいっているので無理と言われました。子供と私が何度も話し合い、学校へ行くようになりましたが、スクールカウンセラーは何のためにいるのでしょうか。もっと子供が気軽に話ができるような環境を作って欲しいと思いました
- ・ 学校のスクールカウンセラーを利用した事があったが、全く何の意味もなかった。
- ・ コロナ禍により学校行事も減り、学校との関わりが減り、家庭との距離ができた事が残念で、気持ちや考えの行き違いが起きました。直接保護者が学校に行く機会も、担任と話す機会もほとんどないので、月に1回でも数分でもよいので、学校から保護者に電話でもやりとりがあった方が良い。

B) 「コロナ」に関連する記述

- ・ コロナウイルスで休校中の食費などがとても大変で貯金を崩して生活していた為、子どもたちの為にしていた貯金が減って、今後の不安。
- ・ コロナウイルスで学校が休校になった期間の母さんたちの給料補償はあるのに、自営業の親の休業の補償はなかったので、子どもの面倒を見てくれる人もいないし仕事を休む事もできないので大変こまりました
- ・ コロナ感染予防対策による臨時休校期間が長かったため、学力低下が心配です。休校になっても、授業の内容やカリキュラムはコロナ前と変わらないため、授業のスピードについてゆけず、習得に至らないまま、何となく過ごしている印象を受けます。塾などで補えればと思いますが、経済的なことを考えると厳しいです。教員OBなどのベテラン教師による学習サポートを受けられるような制度があったらありがたいと思います
- ・ コロナウイルス＝風邪の症状＝学校に行けない＝勉強が全然追いつかない・解らない。特に喘息で咳がひどく1週間以上学校へ行けなかった時、プリントは頂けますが、他のサポートはないので、授業にどんどんおいてかれ、子供は不安の中、毎日頑張っています。行きたくても行けない時、積極的にタブレット学習（オンラインで授業参加）できるようにしてい

ただきたい

- ・ 急な休校の時やコロナ休校では、子どもが長い時間、家で留守番をしているので心配もあったし、学習面、インターネット交流の時代なので、ゲーム、SNS、ユーチューブなどで生活リズムの崩れがあった。
- ・ コロナの緊急事態宣言を受け学校が休校になり、担任の先生とのコミュニケーションが採れないまま再開となり、子どもが不登校になってしまいました（支援学級所属、恐怖心や不安）。今現在は徐々に改善されつつありますが、まだコロナ前の状態には戻ってはいません。
- ・ コロナ禍で部活動ができない時、子供達は公園でも遊ぶことができないことがあり、意欲や体力の低下がととても心配でした。普段から子供達が安心して安全に活動できる場所が増えればと思います
- ・ コロナで（中略）全道大会が中止になり、本当にかわいそうでした。（中略）中止後に心のケアがあるわけでもなく、次、頑張りましょうでは子供達がかわいそうに思いました。
- ・ コロナで学校行事が減り、とても悲しい思いをしています。教育委員会はもっと考えてほしいです
- ・ 市営バスが今までより少し小さめになったせい、バスの中が狭くて、特に今はコロナ感染が怖くて、とてもバスに乗る気になれません。座席の数も少なく、密になりやすいです。冬は子供もバス通学しないといけませんが、バスに乗るのは嫌だと言っています。このままでは学校へ行けなくなり、不登校になってしまいます。

C) 「母子」「家庭」に関連する記述

- ・ 母子家庭に対しての支援が悪すぎる。食材とかの支援もほしい。
- ・ 母子家庭だが、ぎりぎりのラインで児童扶養手当が受けられません。（中略）児童扶養手当の仕組みや平等を考えてもらいたいです。中間層が一番大変です。
- ・ コロナ禍で学校等休みになり、給付金は出たものの、母子家庭でも援助等がなく、同棲をするとそれ以外の手続き自体できない事は不満でした。
- ・ 母子家庭です。年収が数十万の違いで、子供の医療負担0割となるかならないかで、その一年大きな違いがありました。（中略）制度（サービス）を受けられない年収のギリギリのラインのため、たまに不公平感を感じるがあります
- ・ 男より給料は低いだから、女一人で子育てをしている人にはもっと手厚い援助をしてほしい。母子家庭には大学なんて行かせるお金がない。子供に借金を背負わせるのは嫌だし、お金がないと大学へ行けないのが不公平。学ぶ権利は平等にあるべきだ
- ・ 母子で利用できるサービス・制度、金銭的なことについての情報が少ないので、紹介してほしい
- ・ 母子家庭です。小学校時はまだ大丈夫でしたが、中学に上がると部活動の道具や塾の費用などがかさむし、コロナの影響で勤務時間が減り、収入が減りました。少しずつ貯蓄を崩している状況で、不安があります。母子家庭への支援を手厚くしていただけないでしょうか
- ・ 父子・母子家庭に手厚い補助をお願いしたい。金銭面と言うことでなく、病院へ連れて行ってくれる公的サービスや、塾等の時、看てくれるなど
- ・ 母子家庭と父子家庭の支援策の差が非常に大きい。父子家庭の方が少ないからなのか、考慮されてないように感じる。支援策によっては、残業を控え、子供と一緒に過ごす時間を増やすことができる

- ・ 18歳以上でかかる費用（学資など）が大きくなるのに、児童手当は廃止になり、収入制限により児童扶養手当がもらえず、コロナで家族での食費や光熱費が上がる。毎月学資に積み立てた貯金を崩しながら生きています。制度についてもっと分かりやすく、そして母子の大変さを考えて手当をつける（収入制限の緩和）など実態を調査してほしいです。苦しいです。
- ・ 小さなお子さんがいる家庭には色々な施策がされていますが、中・高生がいる家庭の金銭負担もとても大きいです。もう少し対策を考えてほしいです
- ・ ひとり親世帯の申し込みや解除手続き内容は、再出発（再就職や再婚）を目指しにくい規定だと思いました。

D) 「子育て」に関連する記述

- ・ 子育てや教育にかかるお金が高いと思う。安心して育てたいけど、常に不安はある。十分な教育を受けられるよう、もっと支援がほしい
- ・ 支援を受けられる世帯収入の制度を無くして、子育てをしている世帯全てで支援を受けられるようにしてほしい
- ・ 児童館等がない地域に住んでいる為、放課後子ども達が遊べる時間や場所がありません。市街地だけでなく、過疎地にも、子どもの施設があってほしいです。親としてとても子育てしにくいです。地域格差をなんとかしてほしいです
- ・ 高校以降の学費も無償化し、全ての子供達に平等に学ぶ機会を与えていただきたいです。児童手当に相当する手当（子育てに必要な分の）を大学卒業まで支給していただきたい。地方からの子供が来る学校では寮や下宿手当を検討していただきたい。

E) 「支援」に関連する記述

- ・ 家を建ててしまうと、たいていの支援は受けられないので、相談することもありません。地域的に家賃が高かったのが、1人目の子供の時に家を建てましたが、そうすると子育て・教育の支援対象外になるとは…
- ・ 4人兄弟で下が双子のため、いつでも2人分の費用が同時に必要です。ですが、妊娠の時からずっと今まで双子に対する支援策制度が全くありません。就学援助に申し込みましたがダメでした。一度にどれだけ必要か、生活費のことを全然理解してないと思います。
- ・ 無料の学習支援などを実施してほしい
- ・ 各種支援にかかる窓口が細分化されていてわかりづらい。総合的な窓口を設けて、内容に応じて、部門を紹介するなど、単純化すべきであると思います
- ・ 相談にしろ支援にしろ窓口が多すぎて、どこへ聞いたらよいかわかりづらいです。何年たっても改善されていません。窓口一本化をお願いします。〇〇相談所、〇〇相談室、〇〇支援センターなど。一般人からしたら、どこがどこなのかわかりづらいです
- ・ お母さん達は孤独の中で子育てしていると感じる事が多々ある（コロナ禍でさらに）。（中略）相談しやすくする為に、もっと制度やサービス、支援策のハードルを下げて窓口を広く選択肢を多く発信していくべきだと思います。相談に来る、連絡を受ける体制だけでは救えないし助けられないです
- ・ 子供の発達に心配があり、児童相談所や心療内科等で診てもらいたくても、予約がいっぱいで半年待つことになったり、診てもらえないことが多々あります。本当に困っている発達支援が必要な人にとっての受け皿が少なすぎます。

(イ) 「就学」「援助」「収入」「制度」「生活」「お金」を含むカテゴリ

A) 「就学」「援助」「収入」に関連する記述

- ・ 就学援助が受けられると認定された時は良かった。少しの差で受けられない年もあって、苦しかった。もっと援助を受けやすくしてほしい。
- ・ 就学援助制度に関して、前年度の収入で対象、非対象を決定されていますが、その年の年度収入や月収が前年度より減って生活が苦しかったり、私のように病気で保険適用外高額医療がかかるため、収入を増やし、生活費を医療費に充てなければならない家庭もあると思うので、収入だけでなく、どうしても収入から充てなければならないお金・理由なども審査の対象にしていただきたい
- ・ 就学援助を利用していましたが、今年度は利用できませんでした。消費税が上がったのに、家族人数によって利用できる全額の合計が全く変わらないのは何故ですか？収入が少し増えたことにより就学援助が利用できず、生活が厳しい。何のための制度なのか、ちょっとわかりません。もう少し家族人数での収入合計全額の幅を広げてほしいです
- ・ 就学援助について、非該当の申請をうけたのに年度の途中で該当になりましたとの連絡を受けた。未だに何故該当になったのか不明。収入が突然減ったわけでもなかったし、何の説明もなかった。
- ・ 子供がいじめを受けたら困るので、学校で母子家庭であることを公表していません。就学援助に関するプリントに封をして配ってくれたら、中に何が入っているのか解らないので、援助を受けていると解りませんが、学校事務の人がペラ1枚でくれることがあり、配慮に欠けると思いました
- ・ 就学援助制度は書類を町内会の会長の家に持って行き、その後、市の提出する所に出すというとても面倒な事をさせるので嫌だ。まず町内会の会長に収入とか知らせなくてはいけない事が意味不明。知られたくないので、家族人数やどれくらいの収入の人が受けられるのか分かったこちらでも申請しやすいと思う。
- ・ こういう大切なプリント（就学援助に関する案内など）は子どもに渡されても親に出してくれないので、困っています。何か別の方法はありますか
- ・ 就学援助書類を学校からもらい忘れていて、気づいたら書類提出が出来ないままだった。気づくのが遅れたので事前に自宅に郵送してほしい。
- ・ 就学援助の手続きを学校に提出する期限が短く、仕事の都合で間に合わず、毎年市役所に直接行っている
- ・ 就学援助制度について、援助期間は4月～3月なのに、年収の申請は1月～12月分というゆがみに混乱しました
- ・ 同居だと収入を全体で見られて対象にならなく、私自身の収入が少ないのに、できない。同居ではなく、世帯で見てほしかった
- ・ 収入が高ければ、利用できる制度やサービスは少なく、保育料等たくさんかかります。大学まで3人を入れるための教育費、習い事、住宅ローンなど考えると決してあまることはなく、老後の生活がとても大変になることが、想像できます。(中略)税金等も含め収入が高くて子育て世帯に対しては何か考えてほしいです
- ・ ひとり親でも収入が上がり、児童扶養手当、医療費控除・給食費控除がなくなり、大変になった。収入が上がった理由は残業を増やしたため、帰りが遅くなり、子供に負担がかかっ

ているのは事実です。収入が上がっても、ひとり親というのは変わらないので、控除されるものがなくなると生活は厳しくなります

- ・ 障害児がいて特児の手当が加算されると就学援助の対象にはなりません。息子が必死で普通級で頑張っている、ある時には障害児扱いされ、ある時に普通級で援助の対象にならないと言われる。診断を受けているのであれば対象でも良いのではないかと思う

B) 「制度」「サービス」に関連する記述

- ・ お金がもらえる制度は、こちらから調べたり問い合わせしないとなかなか知ることが出来ない。督促状などはすぐに届くのに行政が思っている以上に複雑で不安な生活を強いられている家庭は多いと思います
- ・ 様々なサービス・制度は手続きが面倒で解りづらい
- ・ 学校などを經由して配布する制度案内は絵やグラフを使って可視化し、更に白黒ではなくカラー印刷するなど、誰でも理解できるような工夫を！
- ・ 引越してきてから、案内などが届くのが遅くて利用できなかった事がありました。入学など初めての事でよく分からない事が多いので、制度やサービスの利用方法などを教えてほしい
- ・ 新聞や広報だと見落とす事も多いので、受けられるサービスを学校経由で知らせてほしい。特に申請期間があるもの
- ・ 地域によって利用サービスに偏りがあると感じます。田舎にいと、様々なサービスを受けるために、車で長距離の移動になるのが不便であると感じています

C) 「生活」に関連する記述

- ・ 生活保護を受けていると、就学援助金が受けられなかったり、他にも受けられないことが色々ありました。学校での怪我についてが一番ひどい対応でした。いじめから顔を蹴られ病院で診て貰うのに、学校で加入した保険の対象にはならず、学校でいじめを認めず、保護の対応もできず、といったことになり、病院にも迷惑をかけることになりました。
- ・ 生活保護を受給させていただく時に、それまで受けていた就学援助や医療費の自立支援の手続きがわかりにくく少し困りました。また、生保受給者への世間の目は大変に厳しく、毎日悪いことをしているような気持ちでいます。(中略) 病院受診時に毎回受付で「生保です」と伝える時にも、娘の友だちが近くにいないかと毎回ヒヤヒヤしています。生保で助けていただいている立場にもかかわらず、娘の将来のためにしてあげられることがあるのだろうかと思えず不安でなさない毎日です。いつも申し訳なく思っております
- ・ 市役所の福祉課窓口の方がなれなれしく不快に感じたため、信用できないと思った。生活保護を受けたいが、田舎なので、車に乗れないと仕事も生活もできないので、生活保護以下の生活をしなければならない。
- ・ 生活保護はなんだかんだ理由を付けて申請しづらい仕組みなのが分かりました。本当に生活が苦しい中、申請しても、福祉協議会も福祉課も助けてはくれず、とりあえず働け…、とのことです。(中略) 一時的に生活を立て直したいと思うときに助けてくれる制度があれば…。

(ウ) 「児童」「手当」「扶養」を含むカテゴリ

A) 「児童」「手当」「扶養」に関連する記述

- ・ 年収で線引きしてサービスを制限するのは、違うと思う。ちゃんと税金、納めています。児童手当も線引きしないでほしい

- ・ 児童扶養手当が何故15歳までなのか。高校生が一番お金がかかるのと思う
- ・ 児童手当のように1人当たりいくらではなく、第一子以降加算されるようで、人数が多い家庭は負担があります。1人しか子供のいない家庭が楽に思えます。(中略)支給額は一律になってほしいと思います。
- ・ 児童手当の額などで、3人目は金額を加算してくれて大変ありがたいですが、計算方法が、高校生の兄弟から数えて3人目となっているので、上の子どもが高校を卒業したら、3人目とカウントされなくなってしまいます。子どもが3人で3人目がまだ小さいのに減額になってしまうのが残念です。上の子の年齢にかかわらず、その世帯で3人目の子どもという視点でみてもらいたいです
- ・ 児童館等がない地域に住んでいる為、放課後子ども達が遊べる時間や場所がありません。市街地だけでなく、過疎地にも、子どもの施設があってほしいです。
- ・ 児童館の土曜日預かり時間が9時からで、土曜出勤のときに9時までどう調整するか困った。親は8時30分からの仕事なので。また18時までの預かりだったので、利用時間の検討をしてほしい。
- ・ 発達障害でデイサービスに通っていますが、共働きのうえ定時で仕事が終わらないので、放課後児童クラブも併用しています。デイサービスはほとんど16時、17時で終了。児童クラブとデイサービスの違いも分かりますが、共働きの多い中、定時でも終わらないため、できればデイサービスの時間帯をもう少し長くしたり、児童クラブとデイサービス両方備えた施設があってほしいと思います
- ・ 学校が長期休みの時、(中略)民間の児童クラブに預けないといけなくなるが、費用が高いしすぐに満員になる。小学校低学年の子が長期休みの時にどこで遊べるか考えてほしい
- ・ 児童デイサービスが民間に移管になったが、町営でやってほしいという保護者の意見は全く聞き入れられず、一般町民にも知らせず、既定路線で断行されて大いに不満です。

(エ) 「高校」「大学」「進学」を含むカテゴリ

A) 「高校」「大学」「進学」に関連する記述

- ・ 高校無償化制度について、現在は所得の条件が設けられているが、今後は全世帯において授業料及び教科書等の無償化を検討していただきたいです
- ・ 普通に仕事をしていても、大学まで学費を払える収入にならない。高校以降の学費も無償化し、全ての子供達に平等に学ぶ機会を与えていただきたいです
- ・ いじめにあって、第一希望の高校から通信高校に転入。就学支援金は第一希望校で使ったため、通信高校では前期分が使えず、30万円ほど出費になった。いじめられて転校しなければならなくなった場合や不登校になり通信に転入する時は援助してもらいたい。
- ・ 道立高校の学区制度を廃止して、地方の学力が高い生徒が自由に高校を選択出来るようにしてください
- ・ 公立高等学校入試における学区制度は廃止にし、子供の特性に応じた高校を選択できる制度にすべきだと思います。(中略)地方にいと教育格差は助長されるので、余計に都市移転を検討する要因につながると考えられます。そのため学区で縛るのではなく、都市部の子供達が逆に地方の高校を選択できるよう経済面での優遇や、居住、生活面での整備が必要と考えられます。また地方の高校はレベルを下げなくても良い支援や、地方に住んでいても中高から都市部への進学を検討しても良い教育行政を希望します

- ・ 高校受験の学区についても、学区外受験の%をなくしてほしいです
- ・ 大学、専門学校の学費や通学費にとっても不安を感じます
- ・ 子供が大学まで行くためにかかる費用が高すぎる。どんなに収入があっても子供が多いと、全員、私立だと行かせられない。町でも、返済不要のものもあるが、年収があると貰うことができない（国立でも、学費・生活費を考えると厳しい）。大学の学費の補助制度を見直してほしい
- ・ 現代の中学生は塾に通っている子が多く、本人の希望で塾に通わせたが、兄弟の大学進学等、金銭面で生活苦になり辞めさせた。無料で教えてくれる場所を作ってもらいたい

(オ) 「医療」「病院」を含むカテゴリ

A) 「医療」「病院」に関連する記述

- ・ 子どもにはたくさんお金がかかるので、子ども手当や病院での医療費が安くなると助かります
- ・ 小中だけでなく、高校や医療費（小中高）を無償化してほしい。
- ・ 各市町村で医療費控除がバラバラ。私達の市は子供に医療費がかかるため、病院へ行くことを躊躇うことができました。
- ・ 現住所が一緒だと医療費は無料だが、転校した市では、保険証の住所で無料になるという事で、今は3割負担で通院しています。どちらにも利用できないのは残念でした
- ・ 医療費はかかるが、後で役場に行けばアップカードにポイントを付けてもらえるが、そのポイントは主に行くお店では使えず、商店街が多い為不便です。十分に医療施設へ行きたくても、現金が発生するため、後でポイントに付与されても意味がありません
- ・ 今回、学校側から児童相談所や医療機関を受けることを提案されました。児童相談所での相談は長ければ半年待ちと聞き、病院受診をすることにしました。（中略）相談したくても、専門機関を訪れるまでに数ヶ月もかかるのはどうでしょうか？それだけ専門機関、医師などが足りないのか、何か改善策はないでしょうか。
- ・ 病院の心理カウンセリング予約をしても、話を聞いてもらえるのが1年後。もう少し心理カウンセリングの先生を増やしてほしい。
- ・ 主人の病気もひどく、近郊に受診できる病院もないため、遠方に通院しています。交通費も薬代も高く、こちらでも使える制度は限られて困っています
- ・ 子どもがA市からS市まで月1回通院しているが、公共交通機関利用だと不便なため、自家用車で高速を使い通っている。結構な出費になるので、こうした場合の補助があると助かる。

(カ) 「相談」「先生」「登校」を含むカテゴリ

A) 「相談」に関連する記述

- ・ 小中学生になると相談する場所や人がほとんどなく、学校の先生やスクールカウンセラーとも合わないとなると、どこに相談すれば良いのか分からず途方に迷いました。市内には不登校児が行くふれあいルームが一つしかなく、あとは病院に頼るしかなかった。もう少し小中高の子供たちのための行き場など、支援が広がると良いなと思います
- ・ カウンセリングは保険がきかず高額になります。心の病気も医療保険が利いて、相談しやすい場所がもっとあれば良いと思います。病気になる前の相談場所、悩みを話せる場所があれば。かかえているものを吐き出す場所がもっとたくさんあって、気軽に行きやすいところがあればと思います

- ・ 様々な支援策に頼ってみようと連絡や手続きを試みましたが、一つ一つが非常に煩雑かつたらい回し。その度に様々な条件と公文書を整えねばならず、期日まであり、断念した。ワンストップで子育て相談や支援を「これが使えるし、書類も一度揃えれば全てに使えるようにして手間を一元化できる」情報提供と手助けがほしい
- ・ 昔、子供のいじめについて相談したくお電話したら、あちこちたらい回しにされ、解決しませんでした。それ以来、何の相談もする気になれません
- ・ 相談センターに電話しても、結局何も進展がなく、一般的なことしか、わかっていることしか、言わない。もっと具体的なものがほしい。不登校になると、子どもが家から出なくなるので、親も出ることができなくなり、親も辛いのを分かってほしい。家に、市の人が来て一緒に話をしたり、遊んだりしてくれる制度がほしい
- ・ 担任の先生とは別に、制度やサービスを説明したり個別相談できる社会福祉士などを学校に配置したら相談しやすくなり、そういう保護者も増えると思います。先生には忙しいと思っ言えないこともあるので
- ・ 子供や親の精神状態・健康問題などをもう少し気軽に相談できる所があると良い。学校や役場は相談しにくいこともある

B) 「先生」「登校」に関連する記述

- ・ いじめ、不登校など本当に心から相談に乗ってくれる先生、学校の体制が整うことを願います。(中略)頑張っている先生や頼りになる先生がいても、子どもや親は担任を選べません。1年で担任を変える制度を作してほしいです
- ・ 中学生のための通信中学、または出席扱いになるフリースクールを作りたいです。ふれあいルームはありますが、学習ではなく居場所メインで、楽しい場所があれば良いと思います。先生と合わず不登校になった子供は行き場所や復帰する場所がありません
- ・ 不登校の子ども、親に対しての学校とは別の進学指導、相談ができる専門的な人間がいる場所があると良いと思う。
- ・ 子どもが不登校になった時の学習の場が必要。田舎でも学校以外で学習支援が受けられる場所があったらよいと思う。共働きをしながら子どもの学習支援をしていくのはかなりハードです
- ・ 学校は不登校の児童に対して、もっと力を入れるべきだと思います。学校が力を入れるようにもっと教師を配置すべき。元気に学校へ行けている子だけ未来が保証されているのは違うと思います。
- ・ 不登校児を持つ家庭(学校全体)など、相談窓口だけでなく、フリースクールやホームスクールに関する情報や案内、どういう所で、どんなことをするなど、大人(親)や子供にも分かりやすい情報が欲しかった(子供の心を少しでも軽くしてあげるため)。学校へ行かない、行けない=ダメな子、社会不適合者、親の教育がなっていないなど、他の方々へのそういう子もいるんだという理解力を持ってもらえるような情報を広めてほしい。

(キ) 「障害」を含むカテゴリ

A) 「障害」に関連する記述

- ・ 障害のある子の母です。5年生になりますが、1人で留守番をする事がまだ出来ず、見守りが必要です。一時的に預けられる場所がなく、常に私が見る生活です。一時的、ショートステイ等があるととても助かるし仕事をする事も出来ます。

- ・ 小学校で先生が子どもの為に「支援員」さんを要望しても、他もほしがっているからと、必要な人数を何年も配置してもらえないのがくやしい。(中略) ことばの教室に通わせたいのに、特学との併用が出来ない制度に納得が出来ない。吃音と運動障害等、全く違うものに不便を感じて生活しているのに、通うことで改善が見られるのに、何故許可が下りないのか怒りを感じます。
- ・ 子ども発達支援センターが、緊急事態宣言で休館となり、その間発達に遅れのある子どもが療育を受けられなかった
- ・ 住んでいる地域では発達障害の診察等、通院できる病院がなく、通院したくても車で1時間以上離れている病院へ行くしかない。1時間以上かかる通院可能な病院でも、半年から1年以上の予約待ち。
- ・ 発達障害の通級制度をもっと充実してほしいと思いました。現実、制度がある学校が少ない。どっぷり支援学級というのではなく、通常は普通学級で過ごさせていて、普通学級所属のまま、時々コミュニケーションなどを学べる場として、放課後など通級できる場があれば、とても嬉しいと思いました
- ・ 障害の程度を模索している間、自らあちこち問い合わせをしたが、「こんな制度がある」と教えてくれる窓口がほしい

◆ 小学5年生・中学2年生の保護者回答まとめ

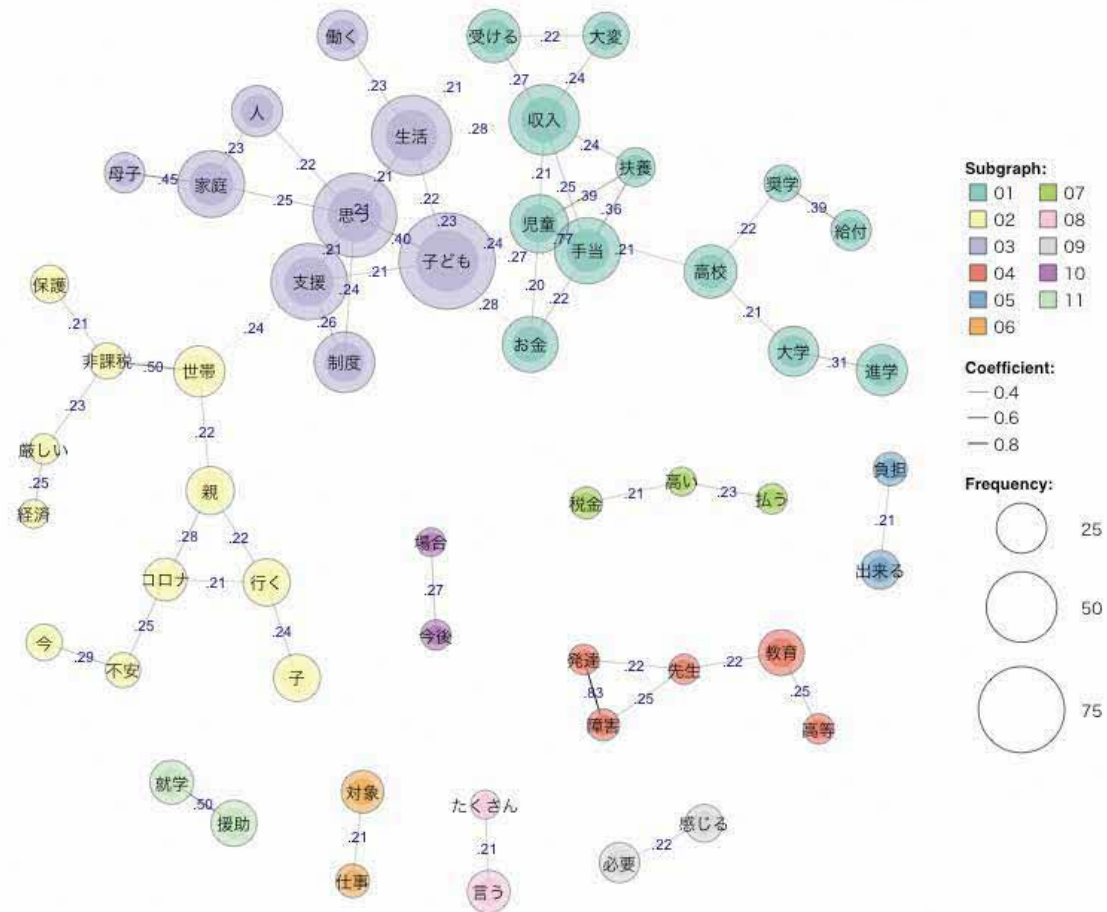
- ・ 制服代・ジャージ代・部活動の費用・PTA会費・自宅学習のタブレットの通信費などの経済的負担が大きいという意見があった
- ・ コロナ休校や体調不良で長期欠席した際の学習サポートが不十分であることを心配する声があった
- ・ 母子家庭・父子家庭への支援の少なさについての意見があった
- ・ 生活が苦しいが就学援助が該当せず、支援を受けられないことに対する不満の声があった。また、就学援助の手続き方法について改善の要望があった
- ・ 児童手当が15歳で打ち切られることに対する不満の意見があった
- ・ 自分が対象になる制度・サービスの案内がなく、自分で調べたり問い合わせたりしないと見落としてしまうことに対する改善の要望があった
- ・ 高校入試の学区制度を廃止してほしいという意見があった
- ・ 高校無償化制度の所得条件の撤廃を求める声があった
- ・ 自治体ごとに医療費控除制度が異なることへの不満の声や、小中高校生の医療費を無償化してほしいという意見があった
- ・ いじめ・不登校について相談できる場や、学習の場を求める声があった
- ・ 発達障害の通級制度の充実を求める声や、診察・通院できる病院が近くにないことへの不満の声があった

④ 高校2年生の保護者

148名から回答が得られた。(総抽出語10,313、異なり語数1,393、491文、149段落が抽出された)

回答の中に8回以上登場した単語の中から、語と語の結びつきの強さを表すJaccard係数が高かったもの上位60件を取り出して図示したものが以下である。

結果図から得られたカテゴリを元に、それらの単語を含む自由記述を一覧化した。内容が重複したカテゴリを除き、以下の5つのカテゴリが得られた。



(ア) 「児童」「手当」「収入」「高校」「大学」「進学」「奨学」を含むカテゴリ

A) 「児童」「手当」「収入」に関連する記述

- ・ 児童手当が中学生までしか受け取れないのは、経済的に苦しかった。高校からの方がお金はかかるので、できれば高校生まで受け取れた方が助かると思います
- ・ 子どもの色々な手当（児童手当や高校無償化、乳幼児医療など）が所得制限で全て対象外です。子どもが3人いて、(中略)進学の際に学費の他に生活費も帰省費もかかります。もう少し多子世帯の事も考えてほしいです。
- ・ 児童手当、高校生までは対象にしてほしいです。進路に向けての学習塾に行かせたくても、現実はきびしいです。医療費もかかります
- ・ 今春、父親の入院生活が長くなり生活が大変になりましたが、前年度の収入が普通だったため、援助もなく大変でした。
- ・ 両親と同居しているひとり親ですが、児童扶養手当が父の収入でずっともらっていません。

私がコロナの影響で仕事がなく大変だった時も、やはり父の収入が引っかけり、支援金も受け取れませんでした。収入が高いらしいですが、私の収入は低いし、家に家賃を払っています。世帯収入、世帯主というのは、それぞれにした方がいいと思います。

- ・ 収入は変わっていないからといって、生活に困っていないと判断されてしまう。児童扶養手当もあてにしていたのに、どんどん削られ、子どもが大きくなり進学すると、桁外れのお金が飛んでゆき、コロナ禍でバイトもできないため、学費、生活費をすべて親一人の収入でやっていかなければならないが、そんな事情は役所では知りませんとばかりに、どんどん削られ、払うものはしっかり払わされ、未来に光りが見えない。
- ・ 以前、市営住宅に入居していました。私が働きだした事で収入が増える→退去となりました。
- ・ 施設入所している児童の場合の適切な質問項目がないため、答えられない質問ばかり

B) 「高校」に関連する記述

- ・ もう少し児童扶養手当の収入の幅を広げてほしい。特に高校以上になるとお金が足りなくなるので、授業料以外にも支援がほしい
- ・ 保育園や幼稚園は無償化されるが、高校は所得制限あり、大学においては何の援助もない現状になぜだろうと感じる。私立高校においても、細かい所得に応じた線があれば良いと思う。
- ・ 高等学校等就学支援金の所得制限の見直しをしてほしい。1/3、1/2の支援金額など段階をつけてもよいのではないか
- ・ 高校入学の時に制服代や教科書代など、色々含めて30万くらいかかって大変でした。制服などももう少し安い金額であればいいと思います
- ・ 北海道は学校でスキー授業がありますが、授業のためにスキー、靴、ウェアを数年おきに買い替えなければいけなく、ものすごく負担です。地方ではリサイクル等も少なく買い替えるしかありません。授業で使う物なので、負担が減るような制度があれば助かります
- ・ 都市部に住んでいる子と、都心外にいる子とでは、学習等（模試や統一テスト等）受けられるものに差があり、その差がなくなるような工夫をしていただきたい
- ・ 高校から自宅が30キロ以上ある場合の交通費の補助をしてほしい
- ・ コロナで子どもの修学旅行も例年の所まで行けずにかわいそうです。中学卒業も高校入学も何も親が見られず、思い出も作れない。

C) 「大学」「奨学」「進学」に関連する記述

- ・ 一生懸命に働いても、子どもの教育費、学費が高く、生活が大変です。高等教育を受けるためには本当にお金がかかります。収入が多いから高額な授業料を払っていると、ある意味生活保護を受けている人と同じくらいの生活水準になってしまいます。高等教育の修学支援新制度の拡大を希望します。
- ・ 親元から通学できる期間よりも、大学進学以降の方がはるかにお金がかかるのに、公的手当がない。学びたい子どもが経済的な理由で進学をあきらめなくてはいけないような事がない世の中になってほしい
- ・ 4年制の大学に進学した場合に、札幌市に住んでいる方は通学費も少額でしょうが、少し離れた所から通学する場合、1ヶ月に4～5万円の支出になります。授業料の他に必要な経費もかさみ、今後の資金繰りが大変です。
- ・ 大学に関して、併願で受験した際、私立が先に合格発表あり。国公立の合否が分からないまま、私立の入学金を納めなければならないという事をどうにかしてほしい。私立学校がこ

のようなことをしないと成り立たないなら、国で何とかしてほしい。

- ・ 高校卒業後の進学奨学金について、すべてを給付型にしてほしい。もしくは免除にしたり、学費自体を減らすようになってほしい
- ・ 大学進学の際、ある程度の収入があると、免除型奨学金が無い。子どもが進学しやすいように、返済不要の奨学金が増えたら良い（条件があっても）。
- ・ 高校に入るまで、就学支援金というものがあるのを知りませんでした。とてもいい支援だと思いました。奨学給付金との違い、対象かどうかなど少し分かりづらいです

(イ) 「支援」「制度」「生活」「母子」「家庭」を含むカテゴリ

A) 「支援」「制度」に関連する記述

- ・ 子育て世帯への支援金等がたまにあるが、対象は住民税非課税世帯だが、子どもにお金がかかるのは同じなので、一律支援してほしい
- ・ 自営業のため、納税しても制度を受けられない。純利益で収入としてほしい
- ・ 自治体によって、子どもの医療費支援が違う。通院、入院等、乳児期の検査内容の違い。以前、住んでいた場所では行っていた検査が、引越した所では行っていないと言われた。必要だから行っていた検査も、自治体によって、お金がないからしないというのは疑問に思いました
- ・ GOTOキャンペーンなど旅行などの支援はあってもよいが、まず生活するだけでギリギリな毎日で、支援があっても余裕がなく行くことができない。旅行や外食の支援より、日々の生活の支援をお願いしたいです
- ・ 制度が使いづらい（非課税世帯や母子家庭など、条件が厳しい）支援というが、支援ではない。相談もたらい回しで話も同じ事を何度も聞かされ、特に解決しない。身内に付いていて思って思いました。ただただ事務的な感じがしました
- ・ 支援金の事とか分からないことが多いので、利用できるものとかを市役所に相談しても分からなく、どこに相談していいか分からない
- ・ 制度やサービスがあるものが明確じゃなく、分かりづらい。聞かないと教えてもらえないので、もっと分かりやすく見える化してほしい。HPなど調べれば分かるのかもしれないが、もっと手軽に調べられる方法があると良いと思う。詳細を知りたい時の問い合わせ先など、まとめたものがあると良い
- ・ 公的な相談先を紹介されたが、相談したい時に予約が取れず、予約が取れても1ヶ月後であり、待つ間がとてもつらかったので、相談できる場所、人を増やしてほしいと思いました
- ・ 修学支援の制度などをもっとわかりやすく、誰もが探さなくてもいいように、存在を知らせてほしい

B) 「生活」に関連する記述

- ・ 生活保護ですが、相談事などしても、対応が全て否定から入るのがほとんどで、親身ではない。何を言っても「駄目」の一言で終わらせてくるので、相談する気にもならないし、子育てに対しても、子どもに対しても「生活保護だから諦めなさい」と全てに対して諦めるように伝えてきます。親身になってくれた担当者は1人もいません。どうかすると人権さえもないような扱いを感じる事さえある。生活保護って、ここまで人間扱いされないんだと、人様の税金で暮らして居るんだから、底辺で生きると常に担当者に言われている気分です。
- ・ 医療従事者のため、他の一般家庭より、どこにも行けない生活が2年ほど続いている。子

どもにもたくさん我慢させている。子どもが風邪をひいても、近くのクリニックではかかりつけ患者でないと診察しないと言うクリニックも未だにある。

- ・ コロナにより、私の仕事が観光業ということもあり、給料が大幅に減少してしまい、生活福祉資金貸し付けは借りれましたが、給付金の方は対象外ばかりで全く該当せず、これからまだまだ会社の方も回復していない状況で、借金だけは残り、今後不安な状態が続くなど心配ばかりです。生活困窮者自立支援金の案内は来ましたが、条件が多くて全く申請出来ません

C) 「母子」「家庭」に関連する記述

- ・ 母子家庭だが、収入で条件を満たせず、色々な手当がもらえなかった。収入によらず、一律でもらえるようにしてほしい。教育費で出費が多く負担がかなりある
- ・ もっと母子家庭や父子家庭を支える制度があってもいいのではないか（私が知らないのかも）。生活するのが困難。色々な制度を設けてほしい。母子家庭、父子家庭限定制度の種類のおたよりがほしい
- ・ 子ども（生徒）の部活動、特に運動部系において、送迎等が親の仕事と関連していてとても困ります。校外活動においては、公共機関を使うなど、各家庭の送迎は無しとしてみてもどうか。中高生の部活動、特に運動系で週末に親が送迎できる家庭って多くはないと思う。またそれが不可能で子どもが部活動を断念するのも本末転倒。

(ウ) 「コロナ」を含むカテゴリ

A) 「コロナ」に関連する記述

- ・ 今後、進学する際の就学援助の枠を広げてほしいです。コロナ禍で収入が減り今後に不安を感じています
- ・ コロナで大学に通えないのに、学費は実習もしていない実習費や学校に行けないのに施設費など当たり前のようにかかり減額もありません。
- ・ コロナだから、授業料など大学にかかわる資金を減らしてほしい。
- ・ 最近のコロナ禍の中で、学校を通してタブレット端末で学習するなど各家庭のネット環境や教育に変化を感じます。このようなことが各家庭でうまく機能するのかどうか、すごく疑問です。このような事に不慣れな家庭ならどうするのでしょうか？親が精通していなければダメでしょうか？
- ・ コロナにしても、大人の都合ばかりで、学生や子ども達だけが我慢の生活。修学旅行にしても、学生生活の思い出を大人が取り上げている。子どもも「大人はいつでも行けるのに」と「子どもは守っているのに大人は・・・」とぼやいています。

(エ) 「就学」「援助」を含むカテゴリ

A) 「就学」「援助」に関連する記述

- ・ 就学援助は、田舎になると役場職員が知り合い、または知り合いの知り合いで、就学援助を受けるのをためらったり、しない家庭が多いと思います。
- ・ わずかな年収のアップで就学援助が切られ、給食費や保育所の支払いなどの全てが一気に必要となった。その年の働き方でほんの少しラインから出ただけだったので、毎月の給料はほぼ変わらないのに、とても大変な時期があった。
- ・ 就学援助を受ける際に収入だけでなく、その年に高額な出費（毎月の治療費）なども、どのくらい掛かるのかなども審査の対象としていただきたい。私の場合は、今後移植手術を受

けるため、高額な費用がかかるので、収入を増やさなければならないが、収入が増えたために、援助の対象にならず、体調が悪くても働かないと、治療費や手術後の遠方での生活費をまかなうことができない。

(オ) 「発達」「障害」「高等」「教育」を含むカテゴリ

A) 「発達」「障害」に関連する記述

- ・ 発達障害に対して知識不足（学校、役所、保健師）。知的障害がなければ医療費の助成がない。知的を伴わない発達障害で高額な薬を使っている子もいます
- ・ 中学、高校にも通級を設置してほしい。発達障害のようにわかってもらいにくい子達が集まれる場所がほしい
- ・ オホーツク地方で18歳未満のADHDなどの発達診断してもらえない場所がない。児相でも検査のみしかできない。
- ・ グレーゾーンの子どもがいるので、もっと気軽に相談できるところがあるといいと思います。H市は児童相談所が3～4ヶ月待ち、療育センターは6～8ヶ月待ちです

◆ 高校2年生の保護者回答まとめ

- ・ 大学進学に向けたお金が必要になるにもかかわらず、児童手当が中学生までしか受け取れないことに対する不満の声があった。高等学校等就学支援金の所得制限の見直しをしてほしいという要望があった
- ・ 学校と自宅が離れている子どもの交通費負担が重いことや、都市部と都心外で模試等の受験機会に地域格差が生まれていることについての意見があった
- ・ 大学進学の奨学金を返済不要のものにしてほしいという声があった
- ・ 使える制度やサービスが分からず、さらに相談したいときに予約が取れなかったという意見があった
- ・ 子育て世帯への支援金等や就学援助が、わずかな収入の差で打ち切られてしまい生活が大変だという声があった
- ・ 地域によって発達障害の診断をしてもらえない場所がなかったり、数ヶ月待ちだったりする現状があった

(1)－2 保護者の感想や要望、意見に対する考察

2・5歳時は保育施設の利用、小学2年生・小学5年生・中学2年生は就学援助や学童など、高校生は大学進学に向けた支援と、年代ごとに異なる内容に関する意見があった。

その一方で、すべての年代に共通していた意見が5つある。

1つ目に、世帯収入で子どもへの支援額が決まることについての不満である。全ての年代の保護者が、児童手当やコロナウイルス関連の補助金が世帯年収によって打ち切られることに対する意見や、多子世帯に対する支援が少ないことに対する意見を書いていた。支援をギリギリ受けられない世帯が、非常に苦しい生活をしているという意見があった。また、別居・離婚状態や、家族が病気で高額な医療費がかかる場合など、公的な支援が受けられないにもかかわらず実質的な生活は非常に苦しいケースがあることも明らかになった。

2つ目に、どのような制度やサービスが使えるか分からないという意見があった。自分で調べて申請しなければ補助が得られないが、忙しくて調べる余裕がなく、もっと分かりやすく教えてほしいという意見が多数あった。使える制度や申請方法、相談場所についてわかりやすい言葉やイラストでまとめた書類を郵送するなどの対応が求められる。

3つ目に、コロナによる休園・休校時の対応についての意見があった。すぐに預けられる場所が見つからない場合が多く、その場合主に母親が仕事を休まなければならないため、仕事を選ぶことが難しかったり、収入が減って生活が苦しかったりするという声があった。子どもの預け場所の整備や、仕事を休んだ際の保障など、子育て世帯の保護者が働きやすい環境づくりが求められている。

4つ目に、自治体によりサービスが異なることや、地方格差の問題についての意見があった。医療費助成の制度が自治体によって異なったり、子どもが遊べる場所や放課後子どもを預けられる場所がない自治体があったりすることへの不満の声があった。また、長距離通学をしなくてはならない高校生・大学生に交通費の支援がなく、苦勞して捻出している保護者がいることも明らかになった。

5つ目に、高校・大学生にお金がかかるが、公的支援が打ち切られることについてである。15歳で就学援助が打ち切られるが、大学進学に向けた塾通学や、大学の入学金・授業料・遠距離の場合生活費など非常に高額な金額が必要になり、2人目以降の子どもに大学進学を諦めてもらうケースなどの記載があった。高校の授業料支援や、「借金」ではない大学の奨学金制度の充実を求める意見があった。アンケート調査では、学年が上がるほど「黒字で毎月貯金している」が減少し（小2で35.1%、高2で24.5%）、「黒字でもなく赤字でもなくぎりぎりである」が増加していた（小2で37.5%、高2で44.2%）が、その一因として高校生以降の公的支援の薄さがあるのではないかと考えられる。

(2) - 1 コロナ感染拡大による子どもの生活への影響

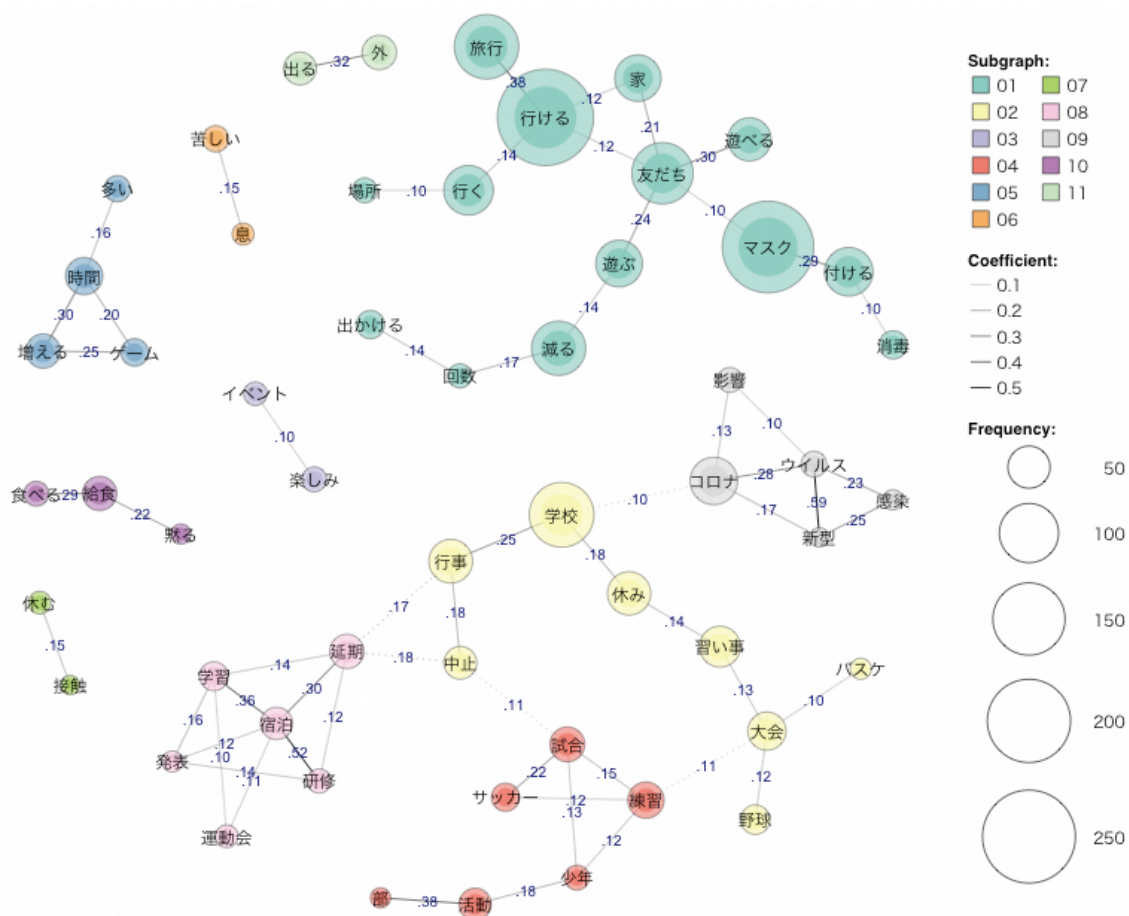
「新型コロナウイルスの感染症の感染拡大によって、あなたの生活に何か影響がありましたか。もしあれば、どんな影響があったか、ご自由にお書きください。」

①小学5年生

870名から回答が得られた。(総抽出語14,117、異なり語数1,171、1,486文、870段落が抽出された)

回答の中に10回以上登場した単語の中から、語と語の結びつきの強さを表すJaccard係数が高かったもの上位60件を取り出して図示したものが以下である。

結果図から得られたカテゴリを元に、それらの単語を含む自由記述を一覧化した。内容が重複したカテゴリを除き、以下の6つのカテゴリが得られた。



(ア) 「コロナ」「ウイルス」「影響」等を含むカテゴリ

A) 「コロナ」「ウイルス」「影響」「感染」に関連する記述

- ・ コロナで行けない場所など楽しみなことができなくなった
- ・ コロナがこわくて学校に行きたくなくなった。
- ・ 新型コロナウイルスにより、スクールバスの朝の便では、増便してくれるのに、帰りの便では増便がなく、密になっていたため要望したが、スルーされたため不安でした
- ・ 少し風邪をひいただけだけど「コロナではないよね」となって心配になる。
- ・ 知り合いがコロナになって隔離され、学校や習い事が行けなくなって、全てがおろそかに

なって、くやしかった

- ・ 妹がコロナの影響で保育所が閉所になり、それに伴って私も学校に行けなくなった
- ・ めいっ子がコロナにかかり、家族で濃厚接触者になった時、地域の人に「コロナだ」と噂が流れ、いにくかった
- ・ 感染対策を取りながら工夫して委員会活動をするため、準備がいつもよりおそくなり、寝る時間が少し短くなった
- ・ 良い影響はしっかり手洗い、うがいが身に付いた。かぜやインフルエンザにかかりにくくなった。

(イ) 「旅行」「友だち」「家」「マスク」「消毒」等を含むカテゴリ

A) 「旅行」に関連する記述

- ・ 修学旅行が行けなくなった
- ・ 研修旅行の泊がなくなった。
- ・ 家族旅行に行けなかった
- ・ 旅行に行けなくなった。毎年楽しみにしていたから、コロナで残念
- ・ あまり旅行、外出の機会が少なくなった。

B) 「友だち」に関連する記述

- ・ 友だちと遊ぶのが減った
- ・ 大人数の友だちと遊べなくなった
- ・ 放課後友だちと遊ぶのを禁止された。
- ・ 友だちの家に行けなくなった
- ・ 友だちといっぱいお話が出来ない。
- ・ 友だちの顔が、目しか見えなくなった

C) 「家」に関連する記述

- ・ 家で過ごす時間が増えた
- ・ 家にいる時間が増えたから、兄弟げんかが増えた
- ・ 関東の親せきの家に行けなくてつまらなかった
- ・ 学校が休みになって、ずっと家にいて疲れた
- ・ 家でやることがない
- ・ お父さんが飲みに行かなくなって、家にお酒が増えた
- ・ 風邪をひいたら家の中で隔離された

D) 「マスク」「消毒」に関連する記述

- ・ マスクが息苦しく耳が痛くなる
- ・ 毎日マスクを付けて生活していると走ったりするとだいたい息苦しい。換気していると寒い
- ・ マスクが苦しくて、夏は死にそう。夏は暑くてマスクが濡れて気持ち悪い。冬は蒸気で濡れて気持ち悪い（登下校の時）
- ・ マスクを付けて学校に行くと苦しくなったり、学校に行くのがこわくなったりします
- ・ マスクを付けていることで、自分の顔に自信がなくなり、給食などのとき、人に顔を見られるのがきらいになった。マスクをつけていないと安心できなくなった
- ・ 外に出る時マスクをして学校とかに行くと、友だちの表情などわかりにくくてなんか嫌だった

- ・ 友だちとマスクを付けても近くで話せない
- ・ マスクを付けることによって、ぼくは身体が不自由なので、息苦しくなって鼻マスクになってしまっていて注意されて嫌だなと思う時があります
- ・ マスクなどははずしたら、友だちから嫌な目で見られてしまう
- ・ 近くにマスクを付けない人がいてムカつく、ストレスがたまる
- ・ マスクを買うお金がすごくとられる
- ・ マスクで肌が荒れた
- ・ 手の皮膚が弱いのにこまめに消毒しないといけない

(ウ) 「学校」「行事」「習い事」「大会」「試合」「練習」等を含むカテゴリ

A) 「学校」「行事」に関連する記述

- ・ 学校が休校した
- ・ 学校に行けない日（休校日）お母さんは仕事で、1人で留守番するのが嫌だった
- ・ 濃厚接触者になって2週間学校を休んだ
- ・ 学校でみんなと机をくっつけることがダメになった
- ・ 学校の体育館を使える人が制限された
- ・ 友だちと公園や学校のグラウンドで遊ぶ機会が減ってしまった
- ・ みんなと学校で何かをやり遂げる事が少なくなって、淋しいと思う事がある
- ・ 学校の行事がなくなったり、延期になったり、短縮になったり、全然楽しくなかった
- ・ 学校の行事を全学年で出来なくなった
- ・ 新型コロナウイルスで外出自粛になり、学校の勉強が遅れ、冬休みなどを使い、勉強の遅れを取り戻すことになった

B) 「習い事」「大会」「試合」「練習」に関連する記述

- ・ 習い事が出来なくなった
- ・ 習い事が休みになった
- ・ 習い事の発表会が中止になってさびしかった
- ・ 部活の大会がなくなって泣いた
- ・ 部活動で練習や遠征がなくなってしまった
- ・ 少年団の大会が中止になって、試合が出来なくて悔しかった
- ・ バレーボールの練習をしたかったのに、コロナで学校でもできず、施設も利用できなくてすごく困った
- ・ スポーツ習い事では、マスクをはずすことにほんの少し嫌だった。はずすだけならいいものの、それでしゃべられるのは不快だった

(エ) 「宿泊」「研修」「学習」「発表」「運動会」「延期」等を含むカテゴリ

A) 「宿泊」「研修」に関連する記述

- ・ 宿泊研修が延期になった
- ・ 宿泊学習が行けなくなってしまった。コロナの影響で何か大きなイベントなどできなくなったところも多いのではないかと考えています。クラスの子も「行きたかったな」と言っていました。仕方ないのは分かりますが行きたかったです
- ・ 宿泊研修が宿泊なしの研修になった
- ・ 前に宿泊学習の時、部屋にいる時、マスクを付けたままだったので、苦しかった

B) 「学習」「発表」「運動会」に関連する記述

- ・ 普通の学習発表会が出来なかった
- ・ 運動会が延期になった
- ・ 運動会が全学年集まってできなかった
- ・ 運動会で毎年やっていた高学年でのよさこいができなかった
- ・ 運動会のやる時間が短くなった
- ・ 運動会のお弁当がなくなりショックだった。運動会、学芸会にじいちゃん達を呼んであげられず、かわいそうだった。

(オ) 「給食」「黙る」等を含むカテゴリ

A) 「給食」「黙る」に関連する記述

- ・ 給食がみんなと食べられなくなったこと
- ・ 学校給食でしゃべらないで食べなきゃいけない。本当はみんなでしゃべりながら食べたい
- ・ 給食中にみんなで仲良く笑って食べることができなくなったこと
- ・ 給食を食べるときはマスクをとらなければならないから取るが、そのときにしゃべる人がたくさんいて、飛沫が跳んでしまうこと

(カ) 「ゲーム」「時間」「増える」等を含むカテゴリ

A) 「ゲーム」に関連する記述

- ・ 最初の頃は全然友だちに会えなくて、ゲームなどを通して話をしていました。休みがたくさんあったので、ついゲームをたくさんしてしまい、学校が始まってからは、学力の低下や目が見えにくくなったり、また勉強する機会も減りました
- ・ 遊びに行けない代わりにゲームをオンラインにしてくれた
- ・ 家でオンラインでゲームをすることが増えた
- ・ テレビやゲームの時間が増えた。夜遅くまで起きているようになった

B) 「時間」「増える」に関連する記述

- ・ 外に遊びに行けなくなった。やることが減ってとてもひまな時間を過ごすようになった
- ・ 友人と遊ぶ時間が減った
- ・ 一人の時間が増えて嬉しくなった
- ・ 家にいる時間が増えたから、兄弟げんかが増えた
- ・ お母さんが仕事が忙しくなり、帰る時間が遅くなって淋しかった
- ・ じいちゃん、ばあちゃんと一緒に過ごす時間が増えた
- ・ 以前より家族と向き合う時間が増えた
- ・ タブレットを使う時間が増えた
- ・ 体重が増えた

◆ 小学5年生のコロナ感染拡大による影響まとめ

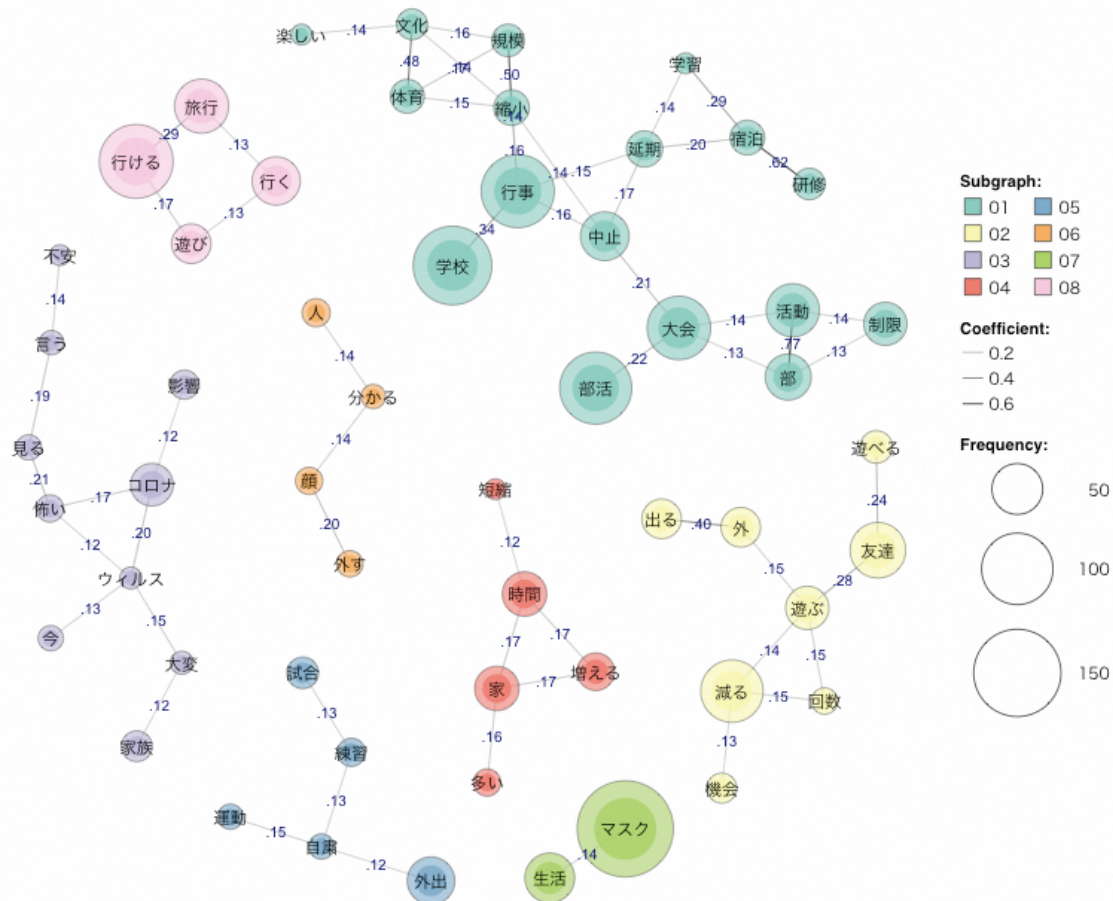
- ・ 外に遊びにいけず、家で過ごすことが増え、友達と遊べなくなったという声が多くみられた。家で過ごす時間が増えてよかったという意見と、家族との喧嘩が増えたという意見があった
- ・ 自分や家族がコロナに感染したり、濃厚接触者になったりしたことで学校にいけなくなる影響が出ていた。また、コロナ感染の疑いによる差別を受けた経験についての記述もあった
- ・ 修学旅行・宿泊研修・学習発表会・運動会などの学校行事や、習い事の大会が延期したり中止になったことを悲しく思っている児童がいた
- ・ マスク着用息苦しさを感じていたり、マスク着用に関して周囲の人とコミュニケーションがうまくいかない経験をしていたりする児童がいた
- ・ 給食が黙食になったことを嫌に思う声があった。その一方で、給食中に喋る人がいることを不安に思う声もあった
- ・ テレビやゲームの時間が増えたという意見があった

②中学2年生

281名から回答が得られた。(総抽出語9,097、異なり語数1,430、560文、281段落が抽出された)

回答の中に8回以上登場した単語の中から、語と語の結びつきの強さを表すJaccard係数が高かったもの上位60件を取り出して図示したものが以下である。

結果図から得られたカテゴリを元に、それらの単語を含む自由記述を一覧化した。内容が重複したカテゴリを除き、以下の6つのカテゴリが得られた。



(ア) 「学校」「行事」「部活」「大会」「中止」「宿泊」「研修」「延期」等を含むカテゴリ

A) 「学校」に関連する記述

- ・ 換気をよくするようになったので学校が寒い
- ・ 学校での学年間交流が極端に減ったためコミュニケーションの能力が変化せずむしろ低下気味
- ・ たまに学校が休みになり少し勉強に遅れが出る
- ・ 学校に行けない日が増えて、ゲームする時間が増えたり体を動かすことが減って睡眠にも影響が出た
- ・ 給食の時、黙食をするのでもっと学校の友達と話したいと思った
- ・ 緊急事態宣言をやみくもにしているから、学校での楽しみがなくなって我慢しなくてはいけなくなっていることを大人は知ってるように感じているかもだけど実際は扱いやすい子供たちを振り回しているように思う。それによって友達との絆が深まる機会などが少なくなり

クラスで馴染めない子の対応ができなくなっている。

- ・ 学校が休みになっておうち時間を楽しめた
- ・ 学校がなくてとても楽しかった

B) 「宿泊」「研修」に関連する記述

- ・ 宿泊研修がなくなり思い出があまり作れなかった
- ・ コロナのせいで楽しみにしていた自主研修がなくなった事
- ・ 宿泊学習が2回も延期になったこと
- ・ 宿泊研修行かせてください

C) 「体育」「文化」に関連する記述

- ・ 体育祭や文化祭をやったことがない
- ・ とても楽しみにしてた体育祭、文化祭がなくなりすごく悲しかった
- ・ 体育祭、文化祭等の行事の規模が小さくなった
- ・ 体育祭などの行事の中止により、先輩などに関わる時間が減ったこと

D) 「行事」に関連する記述

- ・ 学校行事が今まで通りに行うことができない
- ・ 宿泊学習、学校祭、体育祭などの学校行事が延期されました
- ・ 卒業式、入学式がまともにできなくなり行事がほとんどなくなった
- ・ 文化祭などの楽しい学校行事がたくさんなくなってしまった
- ・ 学校行事がうまく進まない→クラスで不安な声上がる→結果楽しめない
- ・ 行事が規模縮小になって本当に残念だ。学校行事も規模縮小になって学校生活がうすっぺらい物になった気がする。
- ・ 学校行事などは様々な影響が出ている気がしますが1年生の頃から所謂”withコロナ”の生活なのでどんな変化が起きているのか良く分かりません
- ・ コロナウイルスでいつも（あたりまえ）のような行事（体育祭や文化祭）ができない中最高の行事が出来て嬉しかった。できないと思っていたから予想よりも楽しかった

E) 「部活」「大会」に関連する記述

- ・ 部活の休みの日がありすぎた。部活がしたくて学校に行きたいと思っているから少し苦痛だった。
- ・ 部活の大会が少なくなってしまい嫌な思いをした。うきうき・どきどき・わくわくなどの感情が少なくなってしまった
- ・ スポーツの練習の制限で運動ができない。大会がなくなり、モチベーションが下がりやる気もなくしただらとした生活になった
- ・ 部活動が出来る地域と出来ない地域があって大会などで差が出る。
- ・ 部活をすることが減ったりして家でどう過ごしていいのかわからなくなる
- ・ 部活の大会に親が来れないこと
- ・ 部活がなくなって体力が減った
- ・ 部活は練習や大会が減り先輩達と過ごす時間が減った
- ・ 部活が長期間の休みになり嬉しかった

(イ) 「マスク」「生活」等を含むカテゴリ

A) 「マスク」に関連する記述

- ・ マスクをするとたまに息苦しくなる、頭痛。マスクをしると先生がうるさい。
- ・ マスク生活で肌が荒れるようになった
- ・ マスクをして体育で運動すると息苦しい
- ・ マスクをつけながらの自転車通学はきつい
- ・ マスクなしで本当は学校に行きたかった
- ・ コロナが怖かったり、顔のことで悪口を言われてからマスクを外すのが怖くなりました
- ・ マスクをずっとつけているから、この先マスクを外して顔を見られることが恥ずかしいと思うようになった
- ・ マスクをつけてばっかで相手の表情が読み取れないから普通に会話をするのが怖くなった。
- ・ 学校から言われているコロナ対策が矛盾している。マスクを外すなど言われているけど写真を撮るときは外せと言われる。先生は外している。人とあまり近づかないようにと言われてたが、先生方の都合によりむっちや距離を近づけられる。
- ・ マスクにお金がかかる
- ・ マスクを日常的に着用するようになり風邪を引きにくくなった

B) 「生活」に関連する記述

- ・ 生活リズムが崩れた（自粛期間）
- ・ 中学校に入ってからコロナだったから本当の中学校生活をほとんど知らない。楽しみにしていた中学生だったのに本物を知らなくて悲しい。
- ・ 思った学校生活が送れなかった
- ・ まず、卒業式がなくなった事、中学校生活スタート！って思いきや自粛。部活の短縮。大会中止、延期、練習試合ができなくなった。毎日マスク、宿泊研修から自主研修の変更。ワクチン、余計な外出禁止、遊べない。感染防止でやっていない店がある。いろいろな楽しみを奪われた、返して欲しい。

(ウ) 「コロナ」「ウイルス」「影響」「家族」等を含むカテゴリ

A) 「コロナ」「ウイルス」「影響」に関連する記述

- ・ コロナが怖くて外に出られなくなった。コロナが怖くて不安な気持ちが強くなった。
- ・ コロナで休校が続く授業の進むスピードが速くなり授業についていけない時がありました
- ・ コロナワクチンの副作用のせいで生活に少し支障が出た
- ・ 親が仕事をしていた職場でコロナのクラスターが起きて濃厚接触者じゃなかったけどPCR検査を受けたのが学校のクラスメートに知られ1度だけイジメを受けた。1ヶ月間くらい学校に行けない日がありました。

B) 「家族」「大変」に関連する記述

- ・ 友達や家族と出かけることが減った
- ・ 家族旅行、外食、隣の町に行くなどの娯楽がほぼ潰されて楽しみが減ってしまった
- ・ 家で家族と過ごす時間が増え、グチを聞くのが多くなり機嫌を取るのが大変で体調が悪いときもグチを聞いたりしなければいけない
- ・ 家族という時間が増えて自分が嫌になった。人間関係がぐずれた。
- ・ 家族などが濃厚接触者だった場合は自分も休まなきゃいけないこと

- ・ 同居人の風邪症状のため欠席になったときの学習の遅れを取り戻すことが大変でした
- ・ ワクチン副反応で欠席した場合勉強に追いつくのが大変である
- ・ 体調が悪化しても病院に行くことは予約日以外難しく大変でした。

(エ) 「家」「時間」「増える」等を含むカテゴリ

A) 「家」「時間」「増える」に関連する記述

- ・ 家にいる時間が増えた
- ・ 家から出る事が少なくなり体力がなくなった
- ・ ゲームやスマホを見る時間が少し増えた
- ・ SNSなどで友達と話す機会が増えた
- ・ お父さんの仕事が減り、給料がめっちゃ減りました。お母さんより家にいます。
- ・ 世の中に対して不安になることが増えた

(オ) 「友だち」「遊ぶ」「減る」「外」「出る」等を含むカテゴリ

A) 「友だち」「遊ぶ」「減る」に関連する記述

- ・ 友達と遊んだりする機会が減った
- ・ 友達と遊ぶところが限られた
- ・ 自分の家に友達が遊びに来れない
- ・ 友達との交流を控えるようになってそのまま疎遠になりそうになった
- ・ 友達といろんなところに遊びに行きたいのにコロナが怖いというのもあって遊ぶ日が減るようになった。大会とか無観客で友達とか見に行きたいって言ってくれているのに中学生になってから1回も見に来てもらってない。

B) 「外」「出る」に関連する記述

- ・ 外にあまり出たくなかった
- ・ あまり外に行けないストレス
- ・ 親や叔父、叔母が医療関係の仕事という事もあってあまり外に出ず感染症対策を毎日するようになった
- ・ 外で遊んでいたら「遊ぶな！」と注意される
- ・ 外で咳をするのが怖いです。視線が気になってしまいます。

(カ) 「旅行」「行ける」等を含むカテゴリ

A) 「旅行」「行ける」に関連する記述

- ・ 旅行に行けなくなった。ライブやイベントに行けない。
- ・ 旅行に行く回数が減った。
- ・ 家族での旅行は祖母の家に帰れなくなった
- ・ 本州に住んでいる祖父母の家に行ける機会がとても減った
- ・ 買い物にも行けず辛かった
- ・ 病院のお見舞いに行けない
- ・ S市など大きな市に遊びに行ったりするのが楽しみだったけどコロナウイルスが流行してからは一度も行けていないし、行くのも怖くなってきたこと

◆ 中学2年生のコロナ感染拡大による影響まとめ

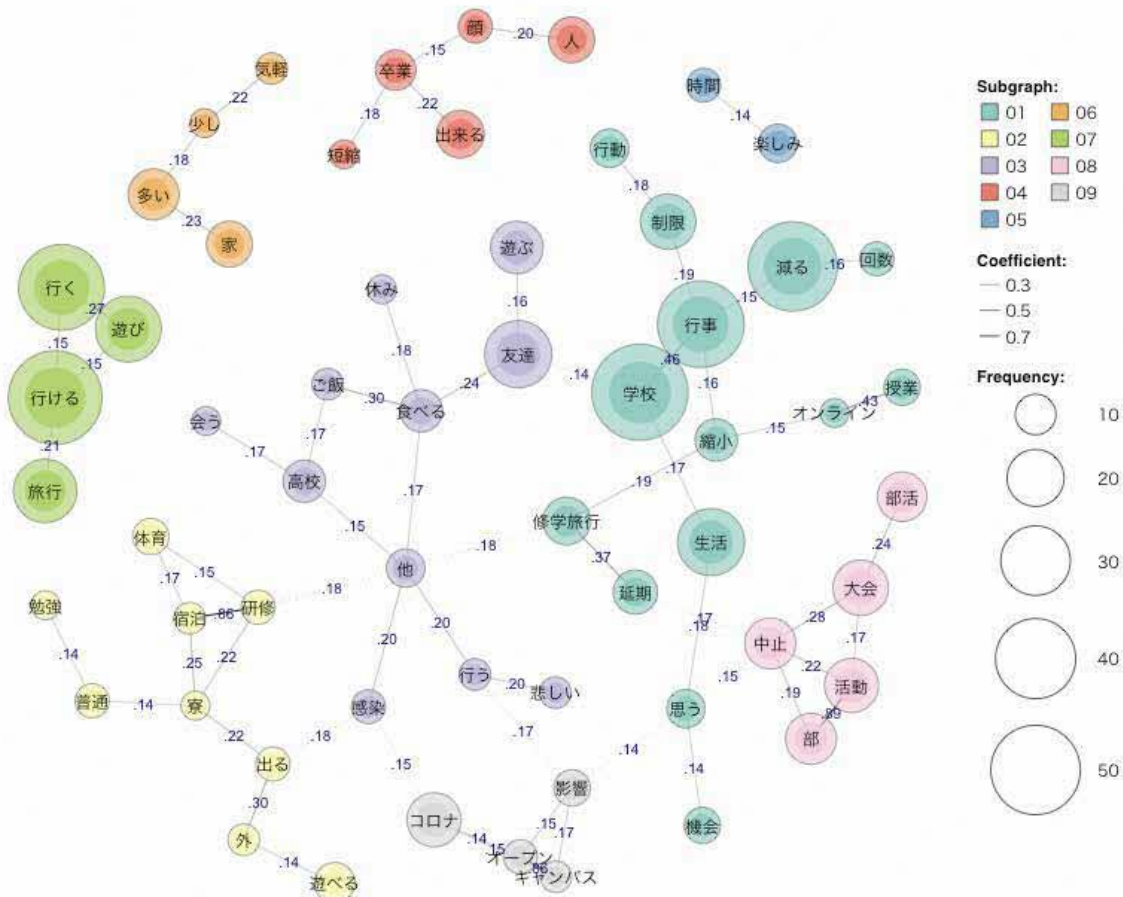
- ・ 学校が休みになり、行事の中止等によって友達と親しくなる機会が少なくなったり、勉強に遅れが出たりすることを心配する声がある一方で、学校が休みになって楽しかったと感じている生徒もいた。
- ・ 部活動や大会が少なくなって嫌な思いをしている生徒が多く、部活ができるかどうかに関地域差があることを指摘している声もあった
- ・ マスク着用息苦しさを感じたり表情が読み取れないことを不安に思う生徒がいる一方で、マスクを外すことに恥ずかしさや怖さを感じている生徒もいた
- ・ 家族旅行ができなくなったことを悲しんでいる生徒がいる一方で、家で家族と過ごす時間が増えたことで嫌な思いをしている生徒もいた
- ・ コロナにより外出がしにくくなり、S市やA市といった大都市に遊びや買い物で行きにくくなったことを悲しむ声があった
- ・ 体調不良時の通院やお見舞いに支障が出ているという意見があった

③高校2年生

116名から回答が得られた。(総抽出語3,293、異なり語数839、220文、116段落が抽出された)

回答の中に5回以上登場した単語の中から、語と語の結びつきの強さを表すJaccard係数が高かったもの上位60件を取り出して図示したものが以下である。

結果図から得られたカテゴリを元に、それらの単語を含む自由記述を一覧化した。内容が重複したカテゴリを除き、以下の8つのカテゴリが得られた。



(ア) 「学校」「行事」「減る」「生活」「制限」等を含むカテゴリ

A) 「学校」「行事」に関連する記述

- ・ 部活動に大会や学校の行事、町内のお祭りなど色々な事が中止、延期になり、学校生活では常にマスクをしなければならないなどの制限などで自分の思っていた高校生活が送られていない
- ・ 楽しみにしていた学校行事がなくなってしまい3年間で経験できる貴重な時間を失いました。その年でしか出来ないものもあったので非常に残念です。
- ・ 色々な学校行事がなくなったり縮小した。私の夢だった短期留学生に選ばれたのに、ただのオンライン英会話になって行けなかった。休校中にうつになりかけた。
- ・ 例年通りの学校生活(行事、実習等)が送れない。
- ・ 学校行事の制限や新しい生活様式によるストレスでの体調不良
- ・ 濃厚接触者になって学校の授業、バイトに影響がでた

B) 「減る」に関連する記述

- ・ 外出の回数が減った。
- ・ 祖父母に会う回数が減った
- ・ 市内のバスの本数が減った
- ・ 母親の就職先が変わりバイト（自分）のシフトも減った
- ・ 父が転職することになり収入が減りました
- ・ 夏休みと冬休みが減ったこと
- ・ 必要な外出でも後ろめたさを感じるようになった。外食が減った。

C) 「生活」に関連する記述

- ・ 自営でやっている店が今まで借金なんてしたことなかったのに店を守るために、私や兄の生活費のために借金したこと
- ・ 少ない学校生活を奪われてしまったことがすごく悲しいです。最後の年くらいは普通の生活を送りたい。精神的に落ち込むことも多くなりました。
- ・ マスク生活が続いて相手が言っていることを全部わかりきれなくて勘違いすることが多くて友達と気まずくなるのが多少ある

D) 「修学旅行」に関連する記述

- ・ 修学旅行が延期になった
- ・ 修学旅行自由行動なし
- ・ 修学旅行が北海道になった

E) 「オンライン」「授業」に関連する記述

- ・ リモートで授業をすることがあった
- ・ オンライン授業に何度かなったが、アプリの使い方を自分で1から学ばないといけなかったことと、スマホしかなかったので画面が見づらくオンライン授業の必要性を理解できなかった
- ・ オンライン授業は最高に良かった

(イ) 「宿泊」「研修」「体育」「寮」等を含むカテゴリ

A) 「宿泊」「研修」「体育」に関連する記述

- ・ 宿泊研修や体育祭がなくなった
- ・ 宿泊研修の時期がずれて日にちも減った
- ・ 体育祭や学園祭が1日減った。1年のときは宿泊研修がなくなった

B) 「寮」に関連する記述

- ・ 寮の規則が厳しくなった。普通の家ならマスクをせず気楽に過ごせるけど集団生活なので常にマスクをするのがつらい。帰省する時や遊ぶ時も制限が厳しくストレスがたまる。
- ・ 校内でコロナにかかった人がいて寮に2週間閉じこめられた
- ・ 2週間程寮から出られずそこから体調不良になり学校に行けなくなってしまった
- ・ コロナに感染して学校に行けなかった。コロナに感染して学校が休みになった。他の友達や先輩、後輩が寮から出られなくなった。ご飯が食べに行けなくなった。寮生活が不自由になった

C) 「勉強」に関連する記述

- ・ 勉強は普通なのに行事は縮小された

- ・ やりたかった行事がなくなったり遊びに行くにしても制限がかかっていたりして勉強勉強ばかりでつかれます
- ・ あまり出かけることがなくなって勉強の時間がとれた

(ウ) 「卒業」「短縮」「顔」等を含むカテゴリ

A) 「卒業」「短縮」に関連する記述

- ・ 入学式、卒業式の短縮
- ・ 中3の卒業式が普通に出来なかったのが1番最悪でした。高3は普通通りに卒業式をしたい。中3最後の方が普通に登校できなかったのも最悪だった
- ・ 中3の卒業式在校生いなかった
- ・ 学校行事ができないまま卒業は悲しい。

B) 「顔」に関連する記述

- ・ マスクで同級生の顔がわからない
- ・ マスクで顔がかくれ大半の人の見分けに苦しむ
- ・ 逆にマスクとかで顔を隠せたり何かをする時に人数が減るからやりやすく私的には嬉しいです。だからといってコロナが好きではないです。

(エ) 「部活」「大会」「中止」等を含むカテゴリ

A) 「部活」「大会」「中止」に関連する記述

- ・ 部活の大会が中止、練習が中止になった
- ・ 部活の大会が減った
- ・ 部活の遠征が少なくなってしまった
- ・ 大会が無観客
- ・ 部活動に入部する前に休校になってしまいみんなより出遅れた
- ・ 部活動が十分できていない

(オ) 「コロナ」「オープン」「キャンパス」等を含むカテゴリ

A) 「コロナ」に関連する記述

- ・ コロナがあってバイトを無理矢理やめさせられたこと。
- ・ バスで通学するのが不安、コロナにかかりそう。
- ・ コロナが流行ってからストレスを感じやすくなった
- ・ コロナの影響で被害の大きかった職業は就かない方がいいかななど将来についてそういった観点で考えるようになってしまった。
- ・ 高校生になってからコロナになったので元がどんな感じかわからないのでわからない。
- ・ LINE等を使い、友達と交流を深めやすかったりアーティストの配信Liveなどで趣味を積極的に楽しめられ、コロナ禍だったからこそ良かった影響もあった。

B) 「オープン」「キャンパス」に関連する記述

- ・ 専門学校のオープンキャンパスに参加したいのにコロナの影響で参加することができない。
- ・ 大学のオープンスクールなどに行けなかった。進路を決めるのに困る
- ・ 夏休みなどにあるオープンキャンパスなどに行きづらくなった。コロナの影響で被害の大きかった職業は就かない方がいいかななど将来についてそういった観点で考えるようになってしまった。

(カ) 「友だち」「遊ぶ」「食べる」「休み」「他」「高校」等を含むカテゴリ

A) 「友だち」「遊ぶ」「食べる」「休み」に関連する記述

- ・ 友達と遊ぶ回数が減った
- ・ 昼食を食べるとき友達と一緒に集まって食べれなくなったこと
- ・ 友達との距離を縮めるのに時間がかかったこと
- ・ 友達と遠出に行くことができない
- ・ 黙食で学校での昼食を楽しめていない
- ・ 昼ご飯中、友達と騒ぎながら食べる生徒が多くて、学校内で安心してご飯が食べられなくなった。
- ・ 札幌とかに遊びに行きづらくなった
- ・ ご飯や出かけるのも怖くなってしまった。
- ・ 生活に影響はないが外に出ることが少なくなった。高校生だからもうちょっと遊びたかったなと思います。
- ・ 休みが増えて嬉しかったです。

B) 「高校」に関連する記述

- ・ 思うような高校生活を送ることができていない
- ・ 大切な高校生活を失いました。
- ・ 違う高校や中学の人と遊ぶことにためらってしまう

(キ) 「旅行」「遊び」等を含むカテゴリ

A) 「旅行」「遊び」「行ける」「行く」に関連する記述

- ・ 旅行や遊びに行けない
- ・ 家族旅行に行けなかった
- ・ 計画していた旅行にいけなくなった
- ・ 自由に行きたい場所に行けなくなった
- ・ 大きな都市に行けない
- ・ バイトへ行くのが怖くなった

(ク) 「家」「多い」等を含むカテゴリ

A) 「家」「多い」に関連する記述

- ・ メンタル的に苦しくなった。家で休んでいても気分などまったく休まらなかった。
- ・ 家にいることが多くなった。ゲームの頻度が多くなった
- ・ 祖父母の家へ遊びに行けなくなった。マスクをしない人に対してイライラすることが多くなった。

◆ 高校2年生のコロナ感染拡大による影響まとめ

- ・ 学校行事や実習が中止になり、学生生活を奪われたことに対する悲しみや怒りの声が見られた。特に、修学旅行や中学3年生の卒業式がきちんと行われなかったことを悲しんでいる意見が見られた
- ・ 親や自分のバイトのシフトが減ったり、辞めさせられたりして収入が減っている生徒がいた。またバイト中の感染が怖いという声もあった
- ・ 寮生活をしている高校生は、寮内に感染者が出るとしばらく寮から出られなくなるという実態についての記述があった
- ・ 専門学校や大学のオープンキャンパスに参加できなかった生徒がいた
- ・ 友達と、学校での昼食や休みの日の外出が自由に楽しめず、距離を縮めるのに時間がかかったという声があった
- ・ S市やA市などの大都市に出かけにくくなったという声があった
- ・ 家にいる時間が増えたことによる精神的な苦しさを訴えている生徒がいた

(2)－2 コロナ感染拡大による子どもの生活への影響に対する考察

小学5年生・中学2年生・高校2年生の回答に共通していた点が4つある。

1つ目に、学校行事の中止・延期や、部活・習い事の大会がなくなったことによる精神的苦痛を感じている声があった。コロナの影響で思っていたような学生生活を送れず、大会や発表会の中止で生活のモチベーションを喪失したことへの悲しみや怒りの声が多くみられた。行事が中止になることで、学校の友達と親しくなる機会が減ったことを心配している子どももいた。さらに、コロナ対応に学校差・地域差があり、コロナ禍でも活動している学校の部活と試合で当たる不平等さや、修学旅行の行き先が自分の学校だけ変わったことに対する怒りの声などもあった。

2つ目に、外出がしにくいことで、都市圏以外に住んでいる子どもがS市・A市などの大都市に遊びや買い物に出かけたり、オープンキャンパスに行ったりできないという大きな機会損失が生じていた。外出の制限は、特に地方に住む子どもにとって不利益になっていた可能性があるといえる。

3つ目に、コロナ禍で外出できず、家にいる時間が増えたことに関する意見が多くみられた。家族とうまくいかず、ストレスを感じている子どもがいる一方で、学校に行かなくて良くなって楽しかったと感じている子どももいた。家が安心できない子どもや、学校が居場所になっている子どもにとっては、コロナ禍の休校が高いストレスであった一方で、普段から学校が脅威である子どもにとって休校期間はホッとできる時間だったといえる。

4つ目に、マスク着用についても、相反する意見がみられた。「息苦しくて嫌だ」「顔が見えなくてコミュニケーションが取りにくい」と感じている子どもがいる一方で、顔について悪口を言われたことがある子どもなどは「マスクで顔を隠せるから安心」と感じ、マスクを取ることに恥ずかしさや不安を感じていた。

3つ目・4つ目に関連して、コロナの影響についての記述は多くがネガティブな影響についての意見であったが、一部の子どもはポジティブな影響を記載していた。そういった子どもたちは、コロナ前から何らかのストレスや不安を持っており、むしろコロナの影響によってストレスから開放されていたといえるため、このような子どもたちに目を向けることも重要であると考えられる。

(3) - 1 子どもの感想や意見、要望

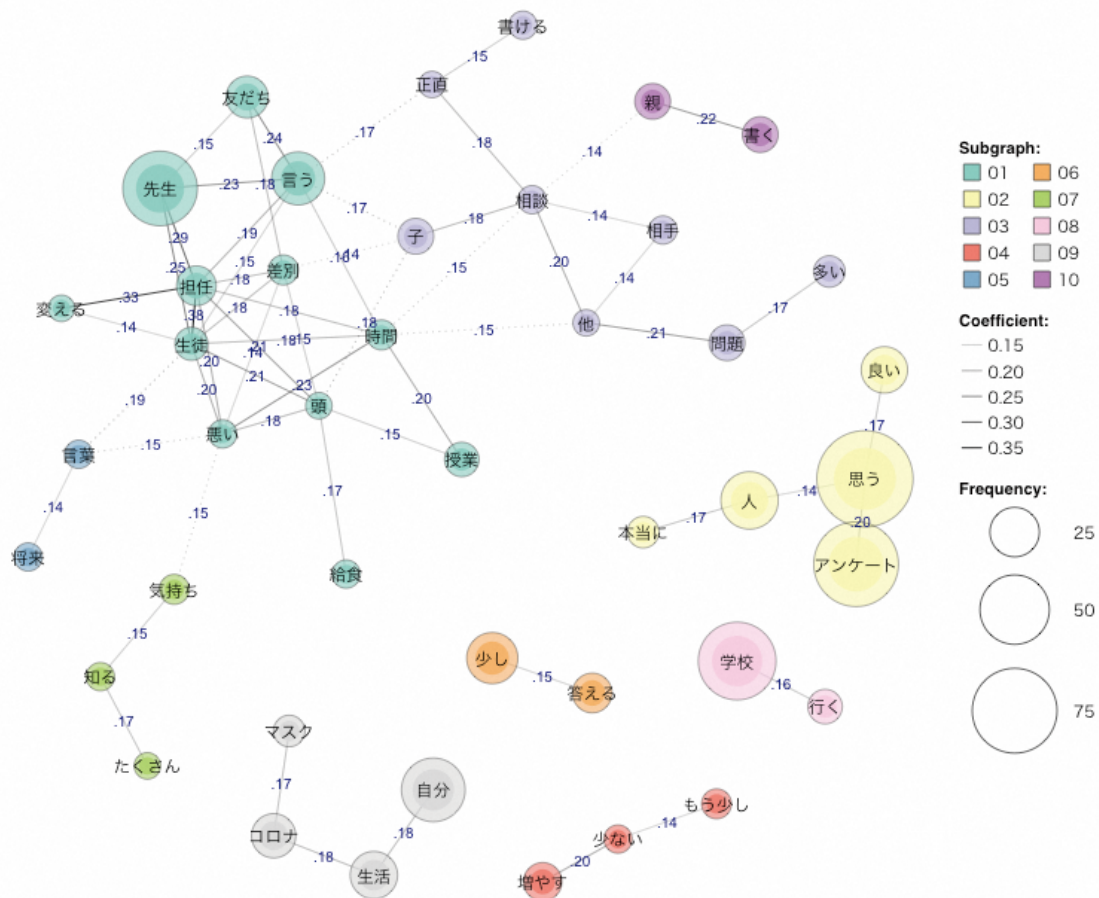
「最後にこのアンケートの感想、学校や社会のことについてのご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。」

①小学5年生

301名から回答が得られた。(総抽出語7,390、異なり語数1,172、527文、301段落が抽出された)

回答の中に7回以上登場した単語の中から、語と語の結びつきの強さを表すJaccard係数が高かったもの上位60件を取り出して図示したものが以下である。

結果図から得られたカテゴリを元に、それらの単語を含む自由記述を一覧化した。内容が重複したカテゴリを除き、以下の7つのカテゴリが得られた。



(ア) 「アンケート」「人」「良い」「思う」等を含むカテゴリ

A) 「アンケート」に関連する記述

- ・ アンケートをもう少し少なくしてほしいです
- ・ 漢字の祖父母が読めなくて、親に聞くので、ふりがなをふってほしい。児童会やゆとりの意味が分からなかった。
- ・ アンケートはネットでやってほしい。書くのが面倒
- ・ このアンケートはとてもわかりにくいところが多数ありました。もう少し分かりやすくな

るように改善したほうが良いと思います

- ・ 自分に当てはまるものを答えるときはたくさんの回答の数字があり、選びやすかったです。ありがとうございました
- ・ あまり深すぎない内容で安心しました。そしてとても答えやすかったです。
- ・ とても大変だけど、これが何かの役に立つなら、やろうかなと思いました。これ（アンケート）が何かの役に立てばいいです
- ・ このアンケートは、人を励ます役割があってとても良いアンケートでした
- ・ 自分たちの意見が少しでもこれからの社会に良い役割を果たせたら良いと思う
- ・ アンケートをやってみて、私は言いたいことが言えた気がして、なんだか楽になりました。コロナウイルスに感染しないよう、手洗いうがいをしっかりします！
- ・ 普段、先生のこととかの意見を正直に言うことが出来なかったのが、このアンケートに助けてもらって良かったです
- ・ 親や先生が見ないのがすごくありがたいです。思っていることを素直に書いてうれしいです
- ・ アンケートの選択肢がたくさんあって、世の中には本当に色々な人がいるんだなと思った
- ・ このアンケートをやってみて、コロナでの影響があって、みんなが大変な思いをして、学校でも色々なことが出来なくなって、マスクでの生活や大声で笑ったり、友だち同士で遊んだりできなくなってしまうのが、辛いと思った。このアンケートで色々な悩みを聞くのはとても良いなと思った
- ・ このアンケートによって自分の普段の生活を見直すことができた。スマホなどの使用時間を考え直すこともできた
- ・ このアンケートを役に立ててほしい。いじめをなくす取り組みをもっと行ってほしい
- ・ 感想はこのアンケートにより、いじめや自殺などの行為がなくなることを願っています。最後は自分が今思っていた事を書いて良かったと思いました。ありがとうございました

(イ) 「気持ち」「知る」等を含むカテゴリ

A) 「気持ち」「知る」に関連する記述

- ・ このアンケートで自分の本当の気持ちなどが分かって感謝しています
- ・ なんでこのアンケートをするのか、分からないけれど、自分の気持ちを振り返られた
- ・ たまにこのようなアンケートをやると、本当の気持ちを話せていいと思いました
- ・ 本当は自分はどう思っているのか、学校生活をどう思っているのかが、少し分かった気がしました。これからもいろんなことにも、あきらめないで頑張っていこうと思いました
- ・ 自分（生活のこと）のことをちゃんと見返せた

(ウ) 「学校」「行く」

A) 「学校」「行く」に関連する記述

- ・ 学校が毎日本当に楽しいです
- ・ 学校に行きたくない。親が話したらイライラする。1人でいたい。自由に暮らしたい。自分がやりたい事があれば好きなようにやりたい
- ・ 学校にスクールカウンセラーがいつもいてほしいです
- ・ 学校の見目がちょっとボロいので、直してほしい
- ・ いろんな人がいるんだと思った。学校の図書室の本をもっと増やしてほしいし、もっと買っ

てほしい（本をリクエストしたい）また、借りられる本を増やしてほしい。学校でみんなで動物を飼育したい

- ・ 学校にもっと大きな体育館がほしい
- ・ 学校の校庭や地域の公園の遊具が少ないから増やしてほしい
- ・ 学校のトイレが薄暗い。
- ・ 学校にエアコンを付けてください
- ・ 学校のグラウンドが砂で、靴が汚れるし、転んだら服が汚れるし、砂だと転ぶので、グラウンドを芝生にしてほしい。体育館のサッカーゴールが壊れそうなので、新しくしてほしい。体育館のサッカーボールを増やしてほしい
- ・ 学校での節電を心がけてほしい
- ・ 最近クラスの口調が悪い気がするので、学校では言葉遣いなどに気をつけるようにしたら良いと思います
- ・ 学校や塾以外に勉強を教えてもらえる場所がほしいと思います
- ・ とにかく「いじめ」をなくして「楽しい！！」と思える学校にしてほしい
- ・ いじめのない学校になってほしい。差別や菌扱い、暴力などのない学校

(エ) 「コロナ」「マスク」「生活」「自分」等を含むカテゴリ

A) 「コロナ」「マスク」に関連する記述

- ・ 学校行事も含め、コロナ禍以前に早く戻って生活したいです
- ・ 早くコロナが無くなって、もっと楽しい、面白い社会になってほしい。
- ・ コロナがおさまったら、いつものように、給食で話をしたり、机をくっつけられるようになってほしいです
- ・ できるだけ楽しいことをしたい。コロナは大嫌い
- ・ 今この時代にコロナのせいで、自由に生活ができない。そして大人の行事（オリンピック）をやるのに、子ども達の行事などを中止にさせようとするのは、少し疑問に思う
- ・ 新型コロナウイルスで、外出を自粛しているのに、学校の行事で、行ったことがなく、使ったことのない所のごみ拾いをさせられるのはとても不安でした
- ・ 学校行事がなくなり、楽しみにしていた旅行も行けなくて残念だった
- ・ 社会はもっと政府がこれ以上コロナが広がらないように、細かい政策を考えて頂きたい。また、もっと地球温暖化対策に力を入れてほしいです
- ・ はやくコロナが収束して一刻も早く元の幸せな社会に戻りたいと思います。マスクをずっとしていると頭が痛くなります（授業中）でも、最近少しづつ感染者が減っていて希望が見えてきましたね
- ・ コロナ、収まれ。マスク生活疲れた。でもコロナが収まってもマスクをはずしたくない
- ・ 道は本当にコロナ対策をしていらっしゃるのでしょうか。私は道が意味のないことをこちら側に押しつけているのはイヤなので、万全対策をよろしく願います
- ・ これからの社会、コロナがおさまるまであと1～5年はあるかも知れませんが、いまのやり方じゃ次の波が来てしまうと思います。せつかく今落ち着いているので、もう少しの辛抱ということで、少し厳しくしたらいいと思います。少子化のことも、魅力を大きくすればいいと思いましたが、多分それは何年も先のことだと思います

B) 「生活」に関連する記述

- ・ 社会のこと、税金が高すぎる、母の給料が安すぎなので上げてほしい。田舎は不便なのでコンビニがほしい。学校のこと、生徒によって態度を変えないでほしい。体育館が狭い、遊具が少ない。社会のこと電車とバスの本数を増やしてほしい
- ・ ほとんど良い方に○を付けているという事は、生活がとても幸せなんだと思った
- ・ 道が狭くて歩道を歩けなくて、真ん中を歩かないと進めない狭い所は、工事してみんなが「ここにずっと住みたい」というような被害のない生活になればいいと思えばいいと思う
- ・ 生活できない人をもっと助けてあげてほしい
- ・ 生活で困っている人に対して、すごくいいアンケートだと思った
- ・ 改めて、自分の生活を見直すと、こんな感じなんだと思いました

C) 「自分」に関連する記述

- ・ この社会は自分の事に向き合えば良い社会になると思います
- ・ 私は勉強が好きです。たとえ問題が難しく、苦戦してもあきらめようと思ったことはありません。なぜなら大人になって、自分が後悔して困りたくないからです。こんなことを是非みなさんに知ってもらいたいです

(オ) 「親」「書く」等を含むカテゴリ

A) 「親」「書く」に関連する記述

- ・ 考えてみればパパとママは自分の事を大事にしてくれているんだなと思いました
- ・ 大事なアンケートだったから、文字をきれいに書かなきゃと思いました。大人になったら、私を育ててくれた親に恩返しをしたいです
- ・ 学校に行きたくない。親が話したらイライラする。1人でいたい。自由に暮らしたい。自分がやりたい事があれば好きなようにやりたい
- ・ なんか誰にも言えないことを書けてスッキリした。まだスッキリしないことはあるけど。お母さんに勝手に見られないか心配。

(カ) 「先生」「友だち」「言う」「担任」「生徒」「差別」「授業」等を含むカテゴリ

A) 「先生」「担任」「変える」に関連する記述

- ・ クラス変えを希望、担任変え希望、毎年変える
- ・ 学校の担任の先生が嫌で変えてほしい。担任の先生のせいで学校に行けません
- ・ 担任の先生が生徒に向かって「てめえ」などの言葉を言うので、学校がきらいになりそうです。どうか担任を変えてください
- ・ 担任の先生が生徒に「お前」と呼んできたり、大声で怒鳴ってきます。暴言はやめてほしいです。なので、このアンケートを取ってくれてうれしいです
- ・ 校長先生に親しみがわきません。先生もっと子どもと遊んでください。
- ・ もっと学校が楽しくなってほしい。先生がもっと生徒の意見を聞いてくれるようになってほしい
- ・ 学校について、先生たちのルールを合わせてほしい。宿題が多い。挨拶しなければ怒られる。先生たちのルールが合わないせいで、みんなわけがわからなくなって、先生に怒られます。
- ・ 担任の先生が、休み時間になっても授業を続けたり、発表するのにプレッシャーをかけたがりして、空気が悪いままで授業をしないで、楽しく勉強をしてほしい。担任の先生はもう少し生徒の気持ちを考えて言葉を選んで発言してほしい

- ・ 先生に挨拶しても返してくれない
- ・ もっと学校が楽しくなってほしい。先生がもっと生徒の意見を聞いてくれるようになってほしい

B) 「友だち」に関連する記述

- ・ 友だちにイライラしてストレスを感じている
- ・ 友だちにばかにされたり「あんた誰？」と言われることがある
- ・ 友だちへ、こそこそ悪口言うのを止めてほしい
- ・ 友だちが最近私に1人だけピリピリしている
- ・ 友だちに誤解され、変な噂が流れている
- ・ 自分が失敗した時、責めてくる。体育のバスケの授業の時に自分のチームの人が責めてきた。自分のことをばかにしてくる人と、先生と話しをして解決したのに、何度もばかにしてくる人がいる
- ・ 他学年のつながりはつくりたくない（こわいから）
- ・ 私は学校でほとんど1人ぼっちだから、私にもみんな接してほしい
- ・ 殴ったり叩かれたりするからやめると言っているだけなのに、余計に怒って叩いたり悪口を言われたりとかするのはやめてほしい。なくなってほしい

C) 「差別」に関連する記述

- ・ 学校の先生は生徒に差別をしないでほしい
- ・ 学校の担任の先生が差別や生徒を見下します。例えば、教師の娘・息子や頭のいい子には優しく、頭の悪い子や声が小さい子には、すごく厳しいです。なので、学校に行きたくないと思うこともあります
- ・ 先生が障がい者に対しての言葉が悪い。先生が生徒に音楽の時間「あなたは歌うな」と言っている。
- ・ 先生があの人はいこう、あの人はいあとか、差別するのを止めてほしい。

D) 「給食」に関連する記述

- ・ 給食のあげパンの頻度を上げてほしい
- ・ 給食の種類をもっと増やしてほしいです
- ・ 給食を増やしてほしい
- ・ 給食の量が多い

E) 「授業」「時間」に関連する記述

- ・ 疲れるから授業を減らしてほしい
- ・ 休み時間は少なすぎるので、増やしてほしい。土曜授業を少なくしてほしい。6時間授業が嫌だ。図工を減らして学校行事を増やして。体育を増やして
- ・ 月曜日も6時間にしてほしい
- ・ 6時間だと習い事に行く時間がない
- ・ リモート授業をしてみたい

(キ) 「相談」「相手」「問題」等を含むカテゴリ

A) 「相談」「相手」に関連する記述

- ・ 学校は勉強が分からない時、先生が教えてくれたり、仲の良い子が学校内にいると、話したり遊んだりできるので、良い場所だと思っています

- ・ 元々親友だった子に無視をされるような事があり、親に相談し、先生まで情報が行き届き、今はその話は終わりと相手も感じているようですが、相手と私だけで話し合いをする時間もほしかったと今でも思います。一度親がスクールカウンセラーに相談してくれたようですが、話がうまく伝わらなかったようで、正直あまりスクールカウンセラーとしての仕事を果たしていないのでは？と感じました。
- ・ いじめのことについて、悪口など言っていないのに（ただ相談していただけなのに）悪口を言ったと決めつけられました。私がお子にいじめられているのに、なんで、そんなことを言われなきゃいけないのですか。勉強は楽しいですが、学校に行くのがいやです

B) 「問題」に関連する記述

- ・ 自分は、家族や学校などへの問題は少ないが、大きな問題をかかえている人は本当に苦労していると感じた
- ・ あんまり家庭の問題もなく、少しアンケートに答えるのも難しかったです。でも、アンケートありがとうございます。普段は答えられないような事にも答えやすかったです
- ・ この学校はとてもいいと思う。問題があっても積極的に解決してくれる。他の学校も(中学)もそうだったらいい

◆ 小学5年生の回答まとめ

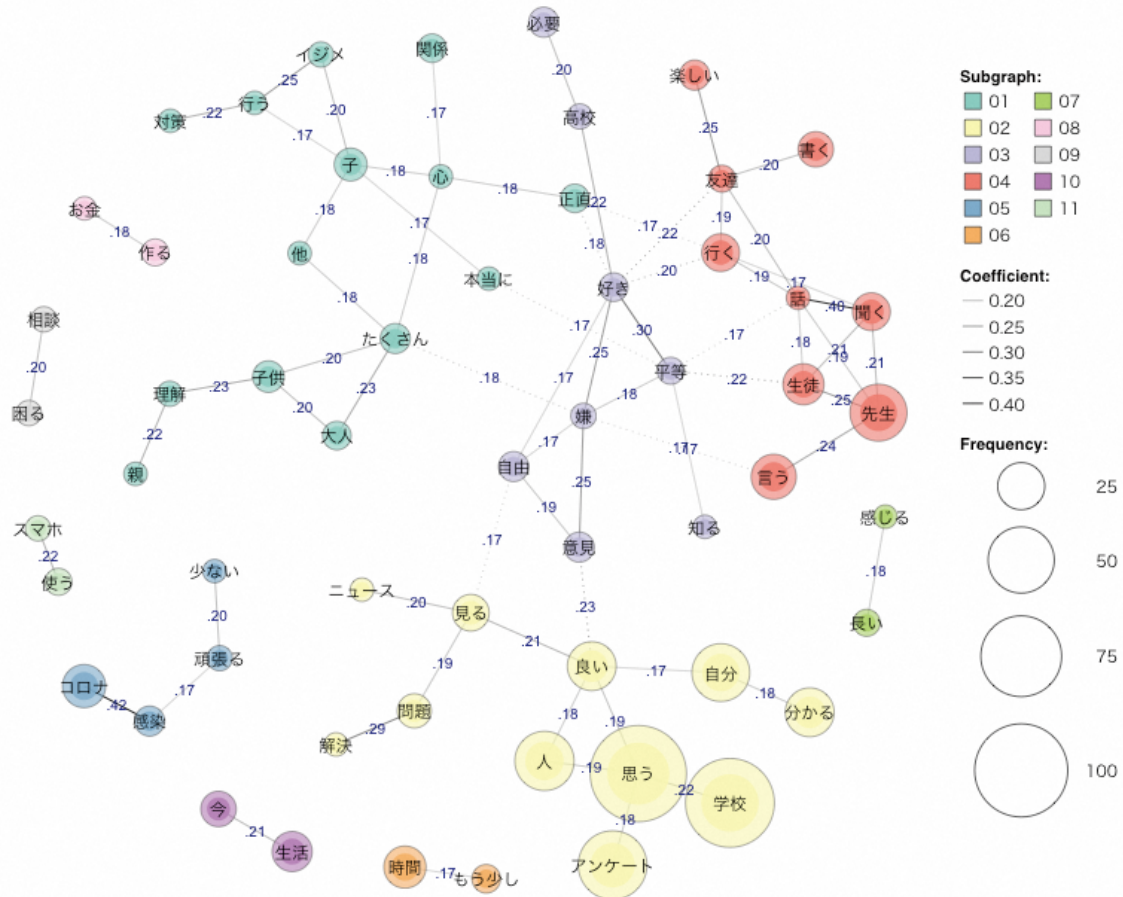
- ・ アンケートの回答に対して意義を感じ、自分自身を振り返る機会になったといった肯定的な意見が見られた一方、アンケートの長さ、難しさ、回答が筆記であることのわずらわしさへの指摘もあった
- ・ 学校設備（体育館、図書室、エアコンなど）の充実を求める声があった
- ・ コロナ禍、マスク着用生活への疲弊を訴える声があり、以前の生活に早く戻るように願う声があった
- ・ 担任や学校の先生による生徒への暴言や差別などへの不満の声が寄せられた

②中学2年生

281名から回答が得られた。(総抽出語9,097、異なり語数1,430、540文、281段落が抽出された)

回答の中に6回以上登場した単語の中から、語と語の結びつきの強さを表すJaccard係数が高かったもの上位60件を取り出して図示したものが以下である。

結果図から得られたカテゴリを元に、それらの単語を含む自由記述を一覧化した。内容が重複したカテゴリを除き、以下の6つのカテゴリが得られた。



(ア) 「学校」「アンケート」「自分」「問題」等を含むカテゴリ

A) 「学校」に関連する記述

- ・ 学校はみんなで楽しい生活をする所でもあるし絆も深める所なので大切に過ごしていきたいです。
- ・ 学校の行事をもっと行ってほしい。
- ・ 1人1人が心を安定させることができるようにしてほしい。私はたまにイライラしたり泣きたくなくなったりするけれど正直学校は休めない。それをどうにかなくしたい。同じような状況の子がいるならその子も救えると思い書きました。お願いします。
- ・ 学校めんどくさい。先生嫌だ。勉強楽しくない。
- ・ 学校のテストで順位をつけないでほしい。不機嫌な先生をどうにかしてほしい。(こっちが機嫌を取らないといけない) 理不尽な先生をどうにかしてほしい
- ・ 中学校を改装してほしい(外観、内装全て) テストの問題が難しいのに煽ってくるのでや

めてほしい。先生の言っていることが理不尽。

- ・ 夏は暑さにより授業に集中することに困難が生じた熱中症にかかるリスクが上がるため難しいかもしれないがエアコンをつけてもらいたい。
- ・ ジェンダーレス制服を学校にもっと取り入れてほしい。部活の日数を決めてほしい、日曜日にまで部活をすると疲れる
- ・ どうしてこの学校は嫌な人ばかりなのか、正直言って嫌な人ばかり考えが合わない。行事もきちんとしない。ストレスがたまる。学校がボロボロ。もっと自由に過ごしたい。やった良いことは報われるのか、こき使われている気がする。先生は好きではない先生もいる、この学校が好きではない。意見ではありませんがこれが学校に対する正直な気持ちです。
- ・ どこの学校も校則が厳しすぎる。ゆるくしてほしい。
- ・ 学校への要望でもう一度校則を見直してほしいです。
- ・ 学校の登下校時自転車を使っても良いようにしてほしい。
- ・ 校則変えたい。ツーブロック禁止なし。コロナ禍がなくなったら他教室に入ることが許される。
- ・ 私の学校だけかもしれませんがゲーセンに行ってはいけないという規則を変えてほしいです。
- ・ 私の学校には今不登校が3人います。なので不登校の人たちでも行きやすい学校みたいなものを「各地方」に1つや2つ置いてみてほしいと思います。
- ・ 通信制の高校のみならず、通信制の中学校も作ってほしいです
- ・ お金がかからず勉強を教えってもらう場所を学校以外に作ってほしい。学校ではわからない所を聞きやすいようにしてほしいです。
- ・ 学校の授業で日々の役に立つ知識を教えてください
- ・ 部活の終わる時間が6時なのに、全て終わって学校を出るのが6時過ぎなのをやめてほしい。
- ・ 学校にいる時間が長い。1日の大半の時間を学校で過ごしている事がつらい。もう少し家にいる時間、家族といる時間を大切にしたい。冬は特に夜帰るのが遅くなるから夜道も危ないと思う。
- ・ 過敏性腸症候群なのですが、そのせいで学校に行けない日や遅れたりする日があったりするのでそれで出席日数が少なかったりして進路にひびくので診断書を出したりして出席日数にひびかないようにしてほしいです。
- ・ 違うクラスの子との交流の機会が全くないのでそういった場を増やして欲しいです。あとテストの順位も自分のみで良いので、知れたら学力の向上に繋がると思います。
- ・ 他の学校との交流をもっと増加してほしい
- ・ 全ての学校がどうかかわからないですが私が通っている学校は部活を辞めにくいです。正直部活のせいで学校に行くのが憂鬱です。なので少しでも部活が辞めやすくなればと思います。
- ・ 学校で英検だけでなく他にも色々な検定を実施してほしい。もっと学テ対策をしっかりしてほしい。
- ・ 学校の教材が重く体に負担がかかる。
- ・ 学校の教科担任を学年で統一してほしい（授業の内容に隣のクラスと差を感じるため）。
- ・ もっと登校しやすい学校にしてほしい。定期的によりリモート授業をやってほしい。（1時間

～6時間目まで)

- ・ 英語も数学もたく習熟度別にした方が良かった。自分はまあまあ出来るけどすごい大変そうな人もいた。先生も数学と英語はちゃんと頑張れと言っていたし、その通り頑張っておかないとすぐ分からなくなるし、それを利用するのも何もできなくなるから数学もたく3つとは言わないけど2つくらいにしてもいいんじゃないかと思った。

B) 「アンケート」に関連する記述

- ・ 正直に答える事ができました。
- ・ 名前を書かなくてもよいので書きやすかった。
- ・ 1人1人の意見をしっかりと聞けるようになっていて良いと思った。
- ・ 自分の意見をこのような形で他人と共有できたのはとてもありがたい。そして何よりプライベートな内容にあまり深く聞かないというところが良い点だと思った。(特に性別等)
- ・ 自分のアンケートの解答が少しでも人の役に立てたら嬉しい。
- ・ このアンケートでもっと学校や社会について大切にしようと思った。
- ・ 特にないです。でも年に2回くらいやったらいいと思いました(このアンケートを)
- ・ アンケートをしてみんながどう思っているのか理解できるのでこのアンケートはすごく良いと思いました。
- ・ こういうアンケートは困っている人やイジメにあっている人に役立つと思うので良いと思います。
- ・ 誰にも見られずアンケートが書けるので言いたい事がしっかり書けて嬉しいです。アンケート続けて欲しい。
- ・ 自分は困っていることは全然なくていつも元気に過ごせているけど、もし困っていたり1人でずっと悩んで苦しんでいる子がいたらきっとこのアンケートで少しは気が楽になるかと思うし、そういう困っている子を見つけるためにもこのアンケートは大事な取り組みだと思います。
- ・ このアンケートを元に子供に良い社会を築けるようにしてほしい。
- ・ テスト期間にアンケートを出さないでほしい。
- ・ アンケートの質問の一部がわからなかったり難しかった
- ・ このアンケートは問題数が多い。
- ・ アンケートの設問に不要だと思うものや回答にもう少し工夫が必要だと思うものがある。
- ・ このアンケートをやって何が変わるんですか？これを書いたところで私たちの学校生活または家族関係が良くなるのですか？味方が出来るのですか？友達が出来るとは？
- ・ いじめアンケートの回数を増やしたら良いのでは？
- ・ 学校ではイジメのアンケートくらいしか、心に負担を抱えるものについてのアンケートを行っていません。ですが子供にはもっと他にも悩みがあると思うんです。児童虐待や友人関係で悩んでいるけれど大人に面と向かって言えない子がたくさんいると思うんです。なのでそのようなアンケートもとって欲しいと思います。
- ・ 教師の生徒への対応にLGBT関連のアンケートがある、もっとたくさんの様々な悩みを抱えている人の心が少しで楽になると思います。「いじめ」までいかななくても嫌がらせや八つ当たり、いじりなど学校ではたくさん嫌なことがあるのもっと実感がわく質問も入れてほしいです。

- ・ いじめ虐待のアンケートでいじめを「受けたことがある」だけでなくいじめを「したことがある」も追加した方が良いと思う、加害者の更生心理ケアにも大切だと思う。

C) 「自分」に関連する記述

- ・ こういうアンケートは自分の気持ちを整理することができるので好きです。
- ・ 自分の生活リズムなどがアンケートをしたおかげで改めて分かった。
- ・ このアンケートを通じて、今までの自分の生活を振り返りこれからの生活のことも考えることができた。
- ・ このアンケートで改めて自分について知ることができました。普段やっていることの中でも重要なことをしていたり実は、やっていないと思っていることでもやっていることがあったりと自分を振り返ることが出来とても良いアンケートだなと思いました。このアンケートを作ってくださりありがとうございますございました。

D) 「問題」に関連する記述

- ・ 環境問題の解決をして欲しい
- ・ 環境問題改善に向けたイベントをもっと行ってほしいです。
- ・ たまに不審者が出るのでどうかしてほしい。
- ・ (アンケート) 私達への気遣いに感謝しています。ですが本当に家庭の問題がある小さな子は親に見られたり本当のことを書けないと思います。

(イ) 「先生」「生徒」「友達」等を含むカテゴリ

A) 「先生」「生徒」「友達」に関連する記述

- ・ 学校の先生がいきなり怒り出す
- ・ 自分の得点通知表が相手の得点通知表のところに行っていて中身を見られた。これは先生なのに間違えるのはやばいと思います。自分は成績が良くないのに個人情報が見られてその時は学校に行きたくありませんでした。
- ・ 担任の先生は私には優しく話もたくさん聞いてくれるけど他の子に対してはとても厳しいと思う場面がいくつかある。●●は少し遅れてる人だからと理由をつけて仕事を増やしてくる(他の人に)
- ・ 私たちに「マスクしろ！」と言うしマスクをちょっとでも外すと怒るくせに職員室でマスクしていない先生方ちらほら居たんですけど・・・本当になんなんですか？と言いたいです。
- ・ 先生方からの差別がなくなると良いなと思いました。人との関係をあまり求めていない人もいるのにそれを無理矢理近づけたりしようとしてくる。人とあまり関わりたいくない。
- ・ 先生達が生徒に対してもう少しハッキリと注意できるようになってほしい。
- ・ そこまでひどくないけど学校で1部の生徒の事を下の名前で呼んだりするのは良くないと思います。
- ・ 金銭的に厳しい家庭に給付金を配って欲しい。友達に遊びに誘われても(お出かけ)お金がないため全部断っている。そして生活面でも不便

(ウ) 「高校」「平等」「自由」「意見」等を含むカテゴリ

A) 「高校」に関連する記述

- ・ 学校についてですが、私はあまり人とつきあうのが得意ではないので正直好きではありません。学校に行かなくても授業をうけることができたらいいなと思っています。不登校になったら高校受験や就職で不利になる、あまり良い印象は持てないようなので仕方がなく通って

いる気がします。そういう目で見られないような社会なら生きていきやすいのだろうと思います。

- ・ 私は学校がそこまで好きではありません。なぜなら先生はあまり真剣に話を聞いてくれず、他人事のようにだし、私自身友達というものがあまり好きではないからです。でも自分の好きな部活動をやりたいし高校に行くためには勉強しなければならないから仕方なく学校に行っています。私の他にもこのような思いの人はいると思います。楽しいだけの学校は必要ないと思いますが何らかの改善をして頂けると嬉しいです。
- ・ お金がなくて高校か大学に行けない人への政策を考えてほしい。高校無料にしてほしい。
- ・ 高校に備え定期テストを行いたいです。

B) 「平等」「自由」に関連する記述

- ・ 先生達が生徒に平等に接してほしい
- ・ 学校の先生が平等に接してくれない。自分の言っていることが一番正しくて生徒の話をあまり聞かず自分勝手な行動をし、沈黙が長い先生が学校にいて部活の顧問だから一緒にいるとうざく感じる。本当にきついし、嫌い。
- ・ 学校の教師は本当に生徒のことを平等に指導しているのかが知りたい
- ・ 臆する先生は教育し直したほうが良いと思う。
- ・ 先生が男女の関係で公平な指導をしてくれないから注意して欲しい。
- ・ コロナで「密になるな」というけど先生はマスクを外して喋ることがあったり（部活）密になるようなことをみんなで作っていて説得力がない。
- ・ 先生の態度の変わりようがひどい。担任の先生が生徒のことを関心を持っていない。話を變えたり流したりしている。ある一定の先生の授業がわからない、聞いても詳しく教えてくれない、これくらい分かって当然みたいな態度を取られる。機嫌が悪い時に生徒にあたる。みんな平等に接していない、ひいきや差別・・・困っています。しんどい。相談しづらい。
- ・ バス通学は距離に応じて対応し不平等が起こらないようにしてほしい
- ・ 勉強しなくても職につける社会になってほしい。テストをなくしてほしい。成績関係なく皆平等に働ける社会になってほしい
- ・ もう少し自由にさせて

C) 「意見」に関連する記述

- ・ 片親や虐待の家庭にあることを「ふくざつ」というのをやめてほしい。その状態にある人が必ずしも不幸で寂しいわけではなく前を向こうとしているのにそのように見られているのが辛い。もう少し子供の意見に耳を傾けてほしい。
- ・ 学校の先生達はもう少し人の話を聞いた方がいいと思う。
- ・ なぜ選挙権は中学生からじゃないのか。大人よりも中高生の方が意見がもっともな時があります。中学生からもう大人の考え方が出来るので選挙権を中学生からにしてほしいです。
- ・ もっと個人の意見や考えが尊重される社会になって欲しい

(エ) 「コロナ」「感染」等を含むカテゴリ

A) 「コロナ」「感染」に関連する記述

- ・ コロナが治まってほしい
- ・ 早くコロナが終息できるように自分たちが出来ることを精一杯しようと思いました。
- ・ 20～30代の人たちが街で飲んだりしていたせいでコロナ感染者数が全然減らなかったの

に、楽しい行事が出来ないまま卒業するのは悲しいです。学生ばかりが我慢するのはおかしいと思います

- ・ いつも中学生など子供ばかりが我慢して大人などはニュースで見ると遊びに出かけているのは少し不満です。
- ・ 学校の給食時間でみんなグループになって食べたいです(コロナが収まったら) コロナウイルスをなくしてほしいです
- ・ 来年の修学旅行はいつも通りの所に行きたいです。学校祭をまだ1度もちゃんとしたことがないので3年生ではやりたいです。生徒の意見をもっと聞いて決めてほしいです。
- ・ 学校は今すごく楽しいと思うけどコロナがなかったらもっと楽しい自由な生活を送れたらと思うと思います。制限される中でも十分に楽しめるように頑張ります。テレビを見ていて気になる事があります。それはニュースで第○波が来ましたと何度もやっているがその原因はまだ感染者が0人になっていないのに早くに宣言などを解除しているからだと思います。1度だけ感染者が0人になるまで我慢してそれから自由に今まで通りの生活が戻ってくるのではないのでしょうか? そう簡単な事ではないと思いますがこれが僕が思っている事です。
- ・ 職員室ではマスクをつけていない先生が多いのが少し気になります。
- ・ コロナの感染者が減ってきたけどまた増えるかもしれないから旅行の割引や飲食店の営業時間の短縮、4人以内とかをまだやった方がいいと思います。
- ・ コロナ感染拡大防止をしなきゃいけないのは分かるが学生としての時間をもっと大切にしてほしい。
- ・ 校長という立場の人間が「コロナに感染してはいけません」というのはどうなのか? 一生懸命予防してもかかってしまうのは仕方がない。それを否定するのはある種の差別である。
- ・ コロナ対策はもういいのではないかと思います。
- ・ 新型コロナの感染者が減ってきたからと言ってすぐに制限を緩和したら、また感染者が増えて努力が水の泡になってしまうと思ったので減ってきたからと言って気を抜かずに対策を続けてほしいです。GOTOトラベルは必要ないと思います。

(オ) 「イジメ」「対策」「子供」「親」等を含むカテゴリ

A) 「イジメ」に関連する記述

- ・ 学校にいるのが嫌でも行かないと勉強が遅れちゃうし行かないといけなくて、学校には人をいじめる人がいて友達がすごく悪口を言われていてそれなのにへらへらしているのが許せなくて今は収まったけど何で自分じゃないんだろうって思ってしまうんです。虐められたい訳じゃないけど友達が言われればなしなのは嫌でどうしたら良いか分からないままで終わってどうしたら良いんですか?
- ・ 今回のいじめを通して思ったのですが、いじめアンケートを行いそれに対する対策を取ったとして学校側がその後の加害者の行動を全て知ることができないのならば完璧に縁を切らせたほうが良いと思いました。また電話相談やカウンセリングで解決するいじめなんて軽いものですから重いいじめはやはり縁を切らせると良いと思います。
- ・ 定期的に「A市いじめ凍死事件」のとても悲惨なニュースが報道されたり、第三者委員会もいつ終了するか分からないのでとても不安な気持ちで登校しなければいけないことが心身的に負担となっています。当時の学校は被害者の方が何度も相談したにも関わらず、加害者10人を肯定する言葉を返していたことに失望したり腹立ったり呆れ返っています。また

Youtuberをはじめとする街宣者の動画等に映ったりしてそのままアップされるかもしれないという点も気がかりです。学校にはいじめを許さない心構えをしてもらい、二度といじめや隠ぺいのないようにしてほしいです。

- ・ 学校やデイサービスなどでいじめがおきてしまったら被害者の話を聞いて、市や教育委員会の人に連絡しお互いに協力していじめをなくしてほしいです。
- ・ どうしたらイジメはなくなるんですか？政治家はイジメで命を失わせないみたいな事を言っていますが、何か取組をしているんですか？なぜ、いじめられている人たちが引きこもって、いじめの人たちが楽しんで過ごせるんですか？実際に転校していじめられた子と話してていじめられるような人じゃないのになんでイジメが起こるか分かんないし世の中が不公平だと思いました。イジメがなくなるように少しでも私たちの目に見える取組を行ってほしいです。

B) 「子供」「理解」「親」に関連する記述

- ・ 私は母に色々な事があり正直とてつもなく呆れた上、気を使って過ごすことに疲れました。限界（気持ち的な）を迎えて爆発寸前な時にさらに怒られたり（テストや成績の事など）して心がぼろぼろです。だからこそ自分が弱っていることをさらけ出して友達に心配されたい訳ではないし迷惑もかかるので、内に秘めて前より笑顔で続ける事を意識しています。でも疲れました。
- ・ BMXやスケボーの出来るパークをH市に作って欲しい。子供にもっとお金を支給してほしい。
- ・ 病気や障がい者についてみんなに理解してもらえるようなイベントや授業、テレビなどを通し理解してもらいたいです。家族と病院に行くことが出来ない場合や病院に連れて行ってもらえない場合子供だけでもしくはサポートスタッフなどで行けるようにしてほしいです。
- ・ 休校していた時期の分をおして一時にたくさんのテスト、行事を同時進行するのは大変だった。このような状況で何か子供達のケア、負担の軽減をしていただきたい。
- ・ 親は子供のことを理解できていなくて良いと思います。
- ・ 政治について子供達にもっと分かりやすくして欲しい。いずれ選挙権があたえられるが、どういうものなのかわかりづらい。なのでめんどくさいといって選挙に参加していない若者は多いのでは？

(カ) 「スマホ」「使う」を含むカテゴリ

A) 「スマホ」に関連する記述

- ・ 中学校はスマホOKにしてほしい。
- ・ スマホの時間を制限するのは逆効果だということに早く気付いてほしい。2時間だとすると、学校の連絡で時間が経ってしまってYoutubeなどを見る時間がなくなって、家でも自由がなくて苦しくなる〇時までならその時間までぎっしり使ってしまう。それならいつでも使えるから今は使わなくていいと自分で臨機応変に使えるのでその方が良いと思う。
- ・ 学校にスマホを持って行っても良いと思います。なぜなら車の送り迎えや何か急に伝えなければ行けないときなどに公衆電話だと混んで時間がかかるから、そしてスマホを学校に持ってきたら必要なときだけ使えるように、朝来たら先生が生徒のスマホを回収すれば良いと思います。

(キ) 「相談」「困る」を含むカテゴリ

A) 「相談」に関連する記述

- ・ 先生の方から生徒に話しかけてほしい。悩み相談なんて自分からなんてできるはずがない（大人が怖い、恐怖でしかない）。（中略）もう少し生徒について気にかけてくれてもいいのでは？生徒（クラス内等）1人1人の心境についての再認識と理解をしてほしい。「大丈夫？」なんて聞かないでほしい。（大丈夫？と言われたら大丈夫です以外に返せるものがない）本当は大丈夫なんかじゃないのに。
- ・ このアンケートでいじめられているなど何か困っている人がいたら相談にのるなど助けてあげてください。
- ・ 真剣に相談しているのに流されることがあるので真面目にきいてほしい。

◆ 中学2年生の回答まとめ

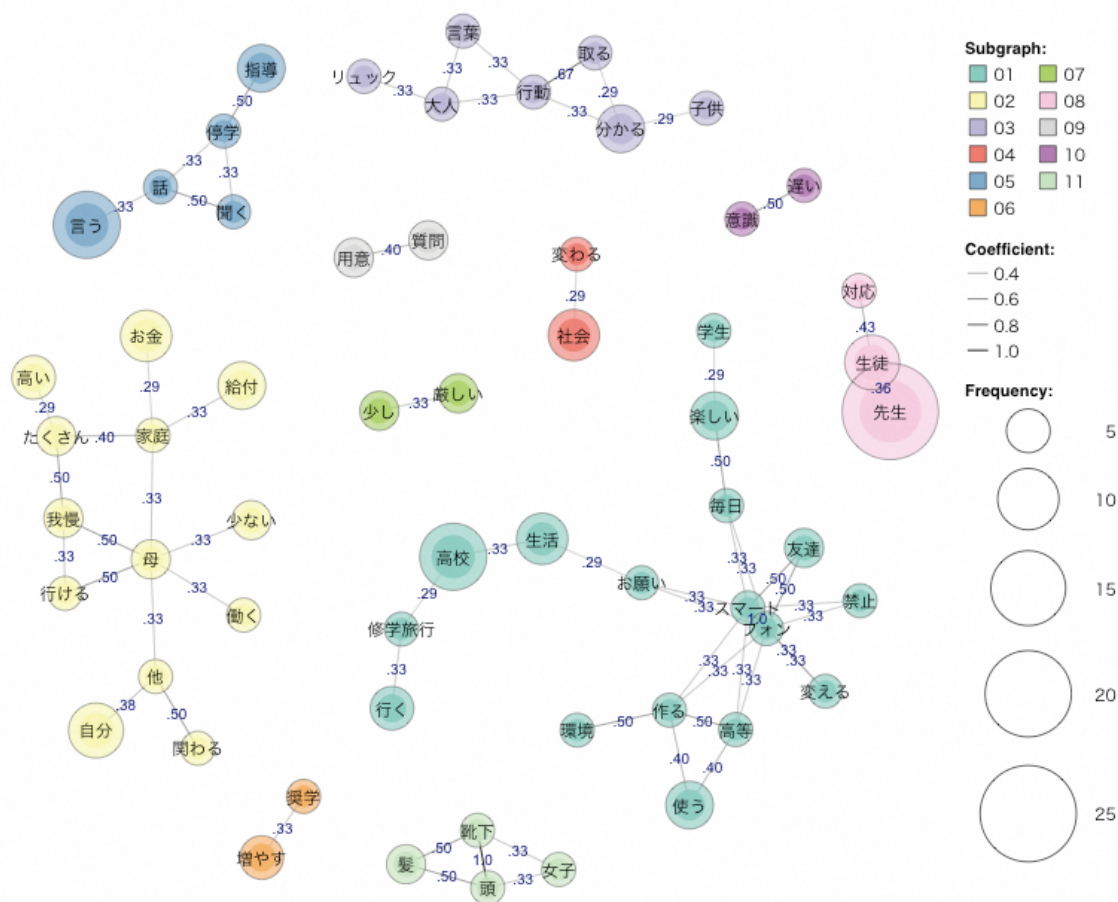
- ・ 学校設備（エアコンなど）の改善・充実を求める声があった
- ・ 厳しい校則の緩和を求める声があった（髪型の自由、スマホ携行の許可など）
- ・ アンケートに対する肯定的な意見も見られた一方、アンケートが難しく長いことへの指摘があり、また、実施の意味を問う意見も寄せられた
- ・ 先生の生徒に対する理不尽な態度、特定の生徒への差別など、先生に対する不満の声があった
- ・ 学校が好きではないが、登校しなかった場合の登校日数の不足や成績低下が、高校進学や将来の就職に悪影響を及ぼすのではと案じて登校せざるを得ないという意見があった
- ・ 先生による生徒に対する不平等な態度、ひいき、差別に対する批判が寄せられ、もっと先生が生徒の意見を聞くよう求める声があった
- ・ コロナウイルスについて、大人の都合で子どもの行動が制限されることや、子どもが我慢しているのに対して大人が遊びに行っているなどの状況への意見があった
- ・ いじめについて不安の声があり、対策強化・改善を求める声があった
- ・ 先生が積極的に、真摯に生徒の相談にのるよう求める声があった

③高校2年生

116名から回答が得られた。(総抽出語3,265、異なり語数834、220文、116段落が抽出された)

回答の中に3回以上登場した単語の中から、語と語の結びつきの強さを表すJaccard係数が高かったもの上位60件を取り出して図示したものが以下である。

結果図から得られたカテゴリを元に、それらの単語を含む自由記述を一覧化した。内容が重複したカテゴリを除き、以下の5つのカテゴリが得られた。



(ア) 「高校」「修学旅行」「スマート」「フォン」「禁止」を含むカテゴリ

A) 「高校」に関連する記述

- ・ エアコンをつけてほしい。(冬は寒く、夏は暑い)
- ・ 校舎が古く更衣室が寒いです。お手洗いも年季が入っており入り口に扉が付いていないことが気になります。定期テストの範囲表をもう少し早く渡してほしいです。来年こそは、高校生として1年間を過ごしたいです。
- ・ 不用な外出、飲み会はやめてください。それは私たちの高校生活から自由を奪います
- ・ 学校は変なルールが厳しすぎる。少し他校と比べてみてほしい
- ・ リモート授業の普及。まだコロナの不安があるので、家で授業の方が安心。

B) 「修学旅行」に関連する記述

- ・ 修学旅行で他の高校はO県とか行っているにも関わらず、自分の高校はS県というつまり

ない場所なのでもう少し学生が楽しそうな場所にしてほしかった。

- ・ 同じ公立高校なのに修学旅行に行く判断がバラバラなのはどうかと思います。

C) 「スマート」「フォン」に関連する記述

- ・ 学校でスマートフォンが使えないのはやめてほしい。友達と遊ぶことができなければ毎日退屈でしかたがない。なぜ、スマートフォンが原則使用禁止にされているのか理解できない。近隣の高校はどれも許可されているのになぜなのか、スマートフォンさえ使うことができればもっと友達も仲の良い友達も作ることができたかも知れないのにこんな高校に入学したせいで、高校生活は何も楽しいことなく3年生に上がってしまう。どうかご検討をお願いします。退屈な高校生活を変えてください。

(イ) 「家庭」「お金」「給付」「母」「我慢」「自分」に関連する記述

A) 「家庭」「お金」「給付」「母」「我慢」に関連する記述

- ・ 金が欲しい、格差をなくしてほしい。貧しい家庭にお金の給付を！！
- ・ 母の収入は少なすぎではないけれど、決して多くないです。母は私たち家族のためにたくさん我慢をして頑張って必死に働いています。しばらく母が自分の服を買っているところを見ていません。私達よりちょっと収入が少ない家は、支援を受けることができ、なんなら私たちより良い暮らしをそのお金で送っています。不公平な気がしてなりません。でも母がどれだけ努力しようと私たちは塾だって行けないし、行ける大学も絞られてしまいます。限界があります。他にも私たちのような家庭は多いと思います。どうか助けてください。
- ・ 金銭面的に大変な家庭がたくさんあると思うので給付金とかそういうのがあればいいなと思いました
- ・ 何をするにもお金が高すぎて生きづらい。
- ・ 18歳以下給付金の説があるがもっと苦しんでいる人はいると思う。例えば一人暮らしの大学生などにも給付金を与えた方がよいかと思った。

B) 「自分」に関連する記述

- ・ 自分を見直すことが出来ました。
- ・ コロナウイルスが流行してから社会は変わったけど自分達自身は変わっていないことが改めて分かりました。ありがとうございました。
- ・ 性別が男女の2種類じゃないのが嬉しい。性別が自分でもわからないのは私だけじゃないと思うから。
- ・ アルバイトをしている理由や勉強をする理由などを改めて考え直すことができた。自分を支えてくれる身近な人（親、兄、友人）をこれからも変わらず大切にしたい。将来どの仕事に就きたいか今のうちにしっかりと考え計画的に学習し立派な社会人になりたい。

(ウ) 「靴下」「髪」を含むカテゴリ

A) 「靴下」「髪」に関連する記述

- ・ 頭髪の校則は厳しく大変です。
- ・ 服装や髪型などを平等で自由にしてほしい。TPOをわきまえた身だしなみが必要であることは当たり前だが、制服を男女で区別したり「ツブロックはだめ」と特定の禁止する校則は今の時代に合わないと思う。
- ・ 髪の毛や靴下の変な決まりをなくすべき。(ツブロック、女子の短い靴下) 時代遅れ。髪がツブロックの人だって頭のいい人はいるし、坊主頭でも頭の悪い人はいる。人それぞれ

れ。それを靴下や髪だけで決めつけるのはまったく根拠がない。したいことできる方が精神面でもよいと思う。

- ・ ジェンダーのことで校則を変えるなら髪や化粧などについても将来社会に出るために必要だしLGBTに該当する人を受け入れるとしてその人だけ髪もメイクもOKなら少なからず違和感が生じるから全校生徒対象で出来るようにしてほしい。
- ・ 髪型への校則を減らしてほしい（似合う髪型はそれぞれだから）略装期間をもっと延ばしてほしい（春や秋でも暑い日があるから）

(エ) 「先生」「生徒」「対応」を含むカテゴリ

A) 「先生」「生徒」に関連する記述

- ・ 学校の先生をもっと良い先生にして欲しいです。
- ・ 学校の先生が嫌いです。理由は生徒に対する対応がゴミ、エコヒイキがひどいから。
- ・ 高校生活の中で1番慣れなかったこと。「小、中学校の先生と高校の先生の違い」義務教育という言葉の凄さを実感しました。私の高校では、「なぜこんな人が教師になれたのだろう」と純粋な疑問を感じてしまう先生が多いです
- ・ 生徒が問題を起こしてもなかなか先生が対応してくれず、苦痛な時間を過ごすので先生の見直し。
- ・ 先生のストレスが生徒に当たってくる。言葉が暴力的で怖い時が多い。(言葉の暴力が多い、威圧的すぎる) 授業の教え方が理解できない自分で勉強した方が分かりやすい時がある。生徒への距離感が近すぎる。振る舞いや行動口調が子供っぽすぎて、大人としての行動や自覚を持って欲しい。女子の人気を取ろうとする教師が多すぎる。きもい。
- ・ 自分のクラスは感染予防で徹底しているのにも関わらず、他のクラスは全くしていないのに不満を持っている。それを先生に話したけど改善がなかった
- ・ 先生方はもう少しじめについて見つめ直す必要があると思う。相談しても軽く流されることや何もしてくれないことがある。
- ・ どの先生も生徒を平等に扱うべきだと思う。明らかに男女での対応が違う先生がこの学校にはいる。無理な願いかも知れませんが減らしてください。
- ・ 女子にあまい先生がいる。よくミスをする先生がいる。先生の言っていることが全てバラバラ。知識不足な先生がいる
- ・ いつも先生が言っている指導や停学が実際停学や指導された人々の停学や指導が、いつも言っている条件より甘すぎる。周りの人から良く聞く話で人の悪口を言い続ける人がいて先生に指導するよう頼み、先生は指導するが開き直る人がいるらしくむしろ前よりひどくなることもあるらしい
- ・ 1日に6時間もずっと座って面白くない役にたたない話を寝ずに聞かなくてはいけなく、学びたくないことを学ばなければいけないのがつらいです。高年齢者の先生が担任だと生徒の気持ちをわかってもらえないし相談もできないから若い先生に変えてほしい。

(オ) 「奨学」「増やす」を含むカテゴリ

A) 「奨学」「増やす」に関連する記述

- ・ 進学する人のために給付金や気軽にできる（返済が少ない）奨学金など配布して欲しい。経済的に苦しいです。
- ・ 返さない奨学金制度を増やしてほしい。

◆ 高校2年生の回答まとめ

- ・ 学校設備の改善・充実（エアコン、更衣室、トイレなど）について要望があった
- ・ スマートフォンの携行や服装・髪型などについての校則の緩和を求める声があった
- ・ コロナウイルス感染に対する不安があり、リモート授業の実施を求める声があった
- ・ 先生に対する不満があった。特に、差別、暴言、ひいき、いじめなどの問題に関する相談への不十分な対応などについて意見があった
- ・ 給付型奨学金の充実について要望があった

(3)－2 子どもの感想や意見、要望に対する考察

小学5年生・中学2年生・高校2年生の回答に共通していた点が4つある。

1つ目に、学校教員による生徒への不平等な態度、ひいき、差別の存在を訴え、その是正についての要望が多くあった。そうした教員の態度によって、子どもたちが学校に行きたくない、学校が嫌いになりそう、といった声が聞かれた。また、学校内のトラブルを教員に相談しても解決につながらない、といった諦めが見受けられた。このことを真摯に受け止め、是正に努めるべきである。

2つ目に、コロナ対策について大人の矛盾した行動への不満も見られた。例えば、子どもが我慢している一方で大人が不要な外出をして拡大感染につながる行動をとっていたり(飲み会等)、また、学校教員が教員室でマスクを着用していない場合があったり、など、コロナ対策について、子どもの目線から大人の矛盾した行動への指摘がなされた。

3つ目に、学校設備の充実を求める声があった。特に、夏の暑さの深刻さ、またそれによる学習効率の低下や体調不良へのリスクを訴え、エアコンの設置を切実に求めている。その他、老朽化した校舎でトイレが薄暗い、更衣室が寒い、など、校舎改修についての要望も多く見られた。子ども達が快適に学校生活を送るための設備更新が求められる。

4つ目に、本アンケートについて、賛否、実施の意義など、様々な意見が見られた。「長い」「難しい」「このアンケートに何の意味があるのか」といった意見があった一方、多くの子どもがアンケート回答について意義を感じ、将来に役立ててほしいと願って回答している。本調査で明らかになった、保護者・子どもの意見双方を具体的な改善につなげ、その結果を公に広く開示・広報していくことが必要であると考えられる。